

電通総研コンパス vol.14

居場所に関する意識調査

2025年3月



目 次

はじめに	P.2
調査概要	P.3
調査結果サマリー	P.4
第1章 「居場所」の実態	P.7
第2章 「居場所」の有無がもたらす影響	P.17
第3章 社会参画と「居場所」の関係	P.28
第4章 つながりのあり方と、それぞれの「居場所」	P.33
Appendix	P.43

はじめに

電通総研は、「人びとの意識の変化がどのような社会を形づくっていくのか」を捉えるために、定量調査「電通総研コンパス」をアドホックに実施しています。第14回となる本調査では、「居場所」というテーマに焦点を当て、2024年10月に全国15～79歳の2,100人を対象に実施しました。

「居場所」という言葉は、「居る場所」と書く通り、元来は物理的な空間を指す言葉でした。しかし時代の変化とともにその意味は広がり、単なる空間的な概念を超えて、自身が帰属するコミュニティや、心理的な拠り所、さらにはデジタル空間を含む多様な環境を指す言葉としても使われています。例えば、家庭や職場、学校といった日常的な場面だけでなく、SNSやオンラインコミュニティ、趣味や推し活での集まりといった新しい形の「居場所」も、人びとの安心感やつながりの源となっています。一方で、満足な「居場所」のないことが孤独感や疎外感の要因となりうることも指摘されており、現代社会における重要な課題だと思われます。

本調査では、多様化した「居場所」の捉え方を踏まえ、「居場所」が人びとの幸福感や社会的なつながり、さらには社会への意識や行動にどのような影響を与えるのかを、具体的なデータを通じて明らかにすることを目指しました。本調査の結果が、多様な「居場所」の重要性を再認識し、誰もが安心できる場所をもてる社会づくりの一助となることを願っています。

調査概要

- 調査時期 : 2024年10月25日～10月28日
- 調査方法 : インターネット調査
- 対象地域 : 下記、都市規模ごとに700名（性年代別で各50名回収）
 - 【アーバン】 東京23区
 - 【サバーバン】 東京（23区以外）
神奈川、千葉、埼玉、愛知、大阪、京都、兵庫の県庁所在地
 - 【ルーラル】 上記以外
- 対象者 : 15～79歳の男女
- サンプル数 : 合計2,100名
- 調査会社 : 電通マクロミルインサイト

※グラフ内の各割合は全体に占める回答者の実数に基づき算出し四捨五入で表記しています。また、各割合を合算した回答者割合も、全体に占める合算部分の回答者の実数に基づき算出し四捨五入で表記しているため、各割合の単純合算数値と必ずしも一致しない場合があります。

※本調査（2,100サンプル）の標本サイズの誤差幅は、信頼区間95%とし、誤差値が最大となる50%の回答スコアで計算すると±2.2%となります。

※質問文に記載した「MA」は複数回答、「SA」は単一回答、「MSA」は複数の項目にそれぞれの単一回答を求める形式を指します。

eten & drinken

調査結果サマリー



調査結果サマリー①

■第1章 「居場所」の実態

ほとんどの人が居場所を「必要」とする一方で、居住している地域社会に「居場所だと思えるところはない」人が約3割

全体の96.9%が居場所を「必要」としている。帰属意識のある集団・組織では「家庭・家族」が87.3%だが、次点の「友人グループ」は年代による差がある。居住している地域社会で居場所と感じる場所では「カフェ」「オフィス」「図書館」が上位だが、地域社会に「居場所だと思えるところはない」人が全体の32.5%。

年代によって居場所への期待内容は異なり、特に若年層は「交流」から「知られたくない」まで、居場所に対する期待が多様

30～50代では居場所に他者との交流を期待する割合は半数程度にとどまり、それよりも個人の空間として期待する割合が約8割と高い。一方、10～20代と70代は約7割が居場所に他者との交流を期待し、多様な人が集うことを求める人が他の年代より多い。ただし10～20代の4割程度は「ほかの人には知られたくない」「限られた人だけがいてほしい」という期待ももっている。

■第2章 「居場所」の有無がもたらす影響

[居場所がある]層は交友関係が広く生活充実度も高い、[居場所がない]層は自由な時間や情報の接触機会の少なさが特徴的

[居場所がある]層は、交友関係が広く、交流人数も多く、人間関係や生活充実度に関する自己評価が高い。一方で[居場所がない]層は交流関係が狭く浅く、一人暮らしの割合や不安・孤独を感じるなどのネガティブな項目が他層よりも高かった。また、[居場所がない]層は自由に使える時間が短く、普段見ている情報源が他層よりも少ない傾向が見られた。

[居場所がある]層は社会に対する意識も行動も高く、社会の一員としての責任を感じて能動的に働きかけたいと思っている

[居場所がある]層は社会問題への考えや社会参画への意識が高く、選挙や地域活動などの社会的活動の参加率も他層よりも高い傾向が見られる。同時に「政治には中立でありたい」と考える割合が約半数で、他層よりも高かった。

調査結果サマリー②

■第3章 社会参画と「居場所」の関係

[社会参画度]が強いほど、集団・組織を居場所だと感じる意識をもち、地域社会にも居場所を複数もっている

[社会参画度]が強い層ほど「家庭・家族」「友人グループ」「職場・オフィス」などの組織・集団において居場所があると感じている割合が高く、居住している地域社会にも複数の居場所をもっている。一方、[社会参画度]の弱い層では、半数以上が地域社会に「居場所だと感じる場所がない」と回答。

[社会参画度]が強いほど、居場所に対してさまざまな期待をもっている

[社会参画度]が強い層は居場所への期待や求める役割もさまざまで、「人びとの交流が増える」「人びとが生きやすくなる」ことへの期待が他層よりも高い。一方で、[社会参画度]が弱い層は居場所への期待や求める役割が他層に比べて少ない。

■第4章 つながりのあり方と、それぞれの「居場所」

他者や社会とのつながりに関する特性から、6つのクラスターに分類

リアルやオンラインといった他者とのつながり方から4つの因子、生活価値観から3つの因子、社会との関わり方から4つの因子、計11因子を抽出し、クラスター分析をおこなった結果、下記の通り6つのクラスターに分類された。

1 [リアル交流重視]層・2 [広くつながりたい]層・3 [オンライン交流重視]層・4 [人付き合い深く狭く]層・5 [つながり不足]層・6 [つながり無関心]層

クラスターごとに居場所に対する考えは異なるが、大きく3つの傾向が見られた

[リアル交流重視]層と[広くつながりたい]層では、居場所に広範な期待をもって積極的な交流を求める傾向。

[オンライン交流重視]層と[人付き合い深く狭く]層では、居場所の役割を限定的に捉え、目的意識で居場所を選択する傾向。

[つながり不足]層と[つながり無関心]層では、自身に寄り添ってくれる場として居場所を利用する傾向。

A background image showing a group of people in a library or study. They are gathered around a table, looking at a laptop screen. The shelves in the background are filled with books and binders. The image is slightly blurred and has a warm, muted color palette.

第1章 「居場所」の実態

居場所という言葉が広範な意味で使用されるなか、
私たちは何を居場所と感じ、そこにどのような価値を求めるのでしょうか？

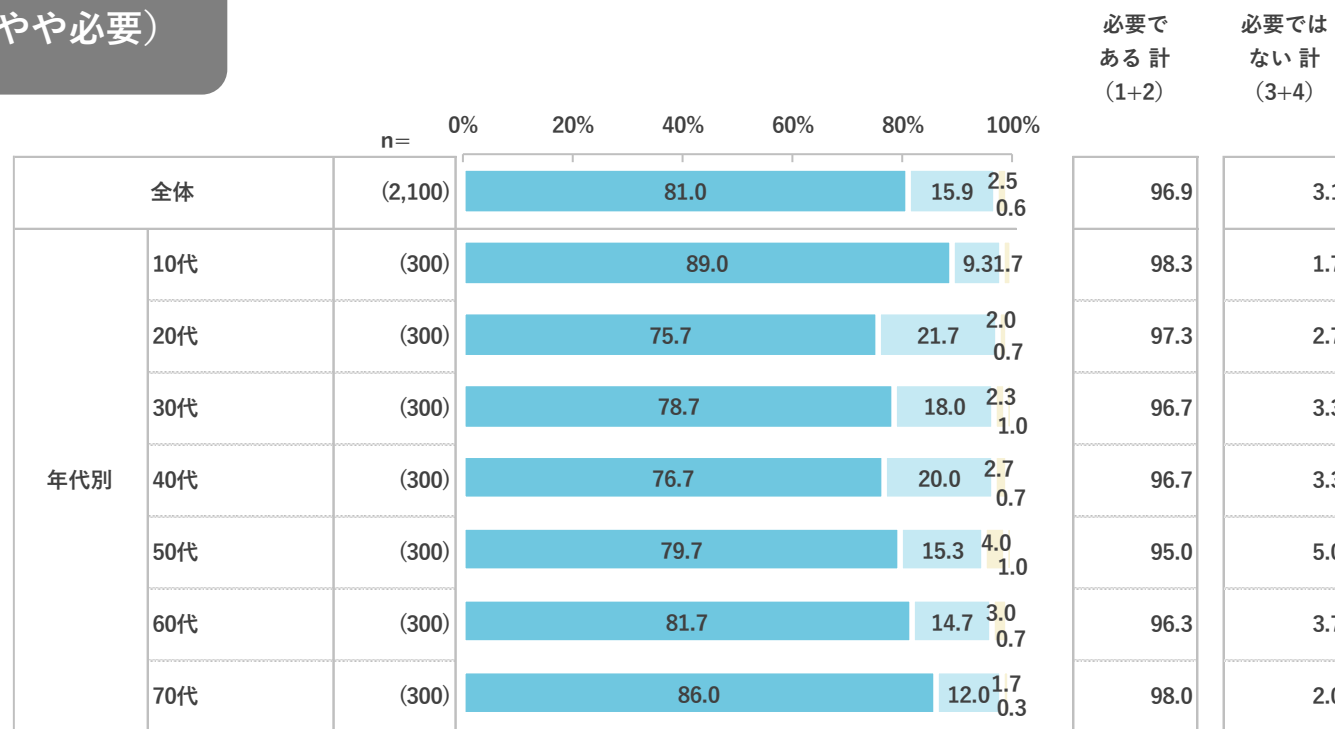
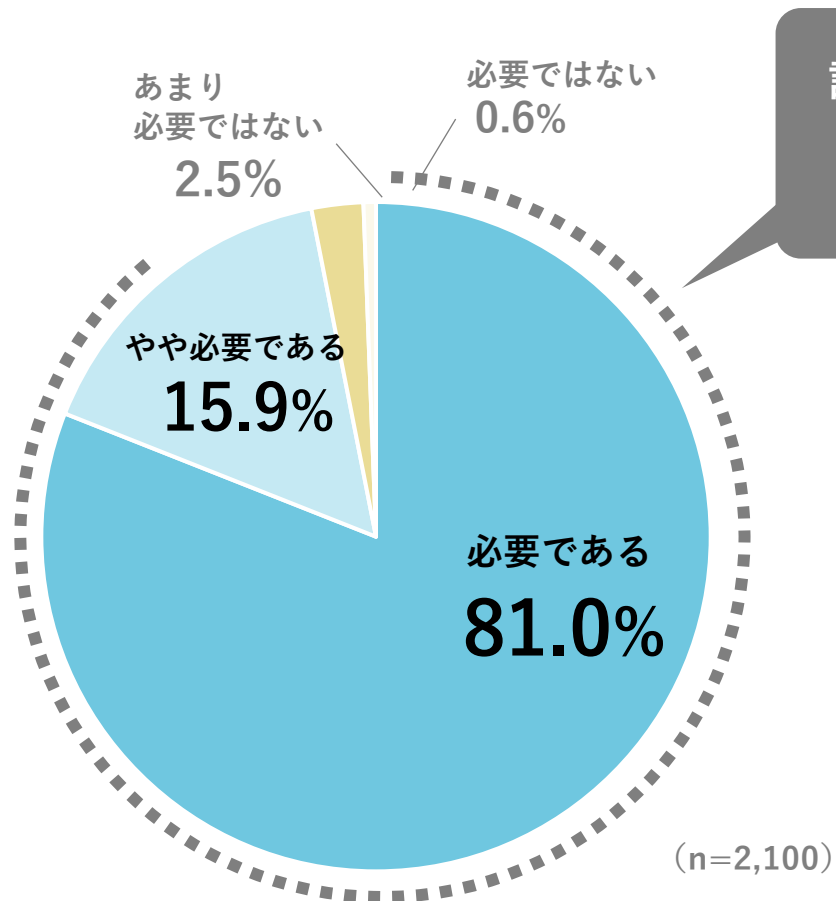
本章では、居場所の必要性や有無、
身近な集団や地域社会に感じる居場所が何であるかなど
居場所の実態を捉えることを目指しました。

年代ごとに異なる居場所のあり方や、
その期待に対する違いを明らかにしていきます。

居場所の必要性

居場所が「必要である」と回答したのは全体で96.9%。

10代では98.3%が居場所を「必要である」と回答しており、年代別でもっとも高い。

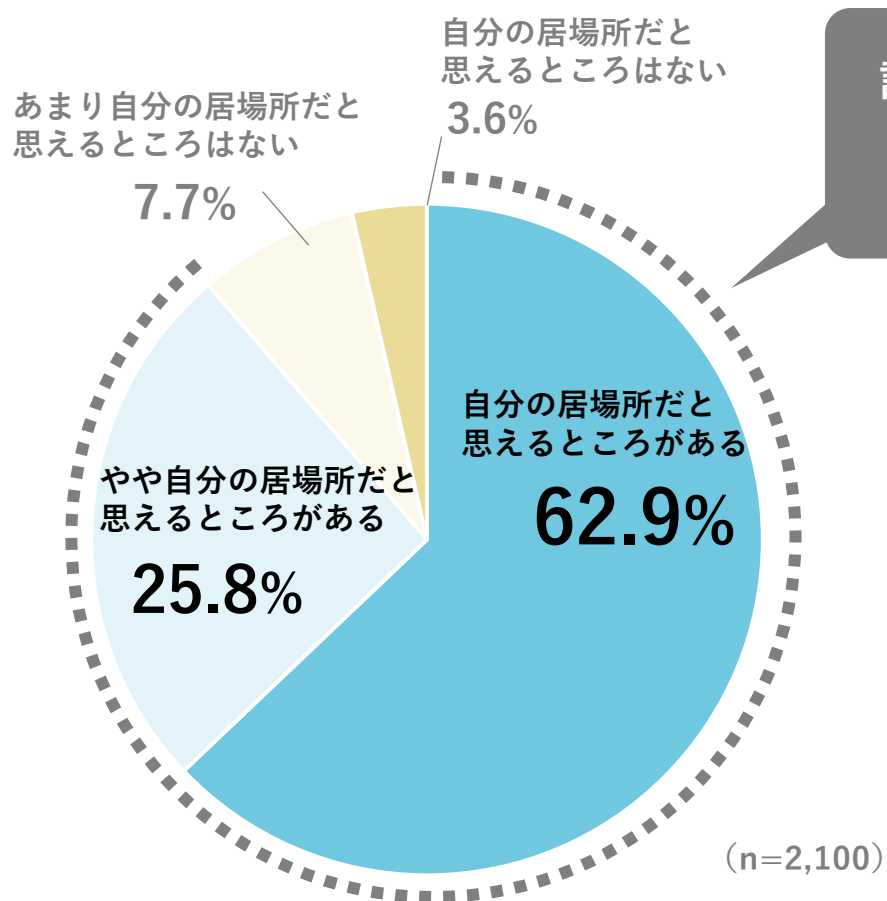


Q1 あなたにとって、「居場所」は必要ですか。(SA)
【基数：対象者全員】

居場所の有無

居場所が「ある」と回答したのは全体で88.7%。

年代別でみると70代がもっとも高く95.7%、30代がもっとも低く85.3%と10ポイント以上の差がある。



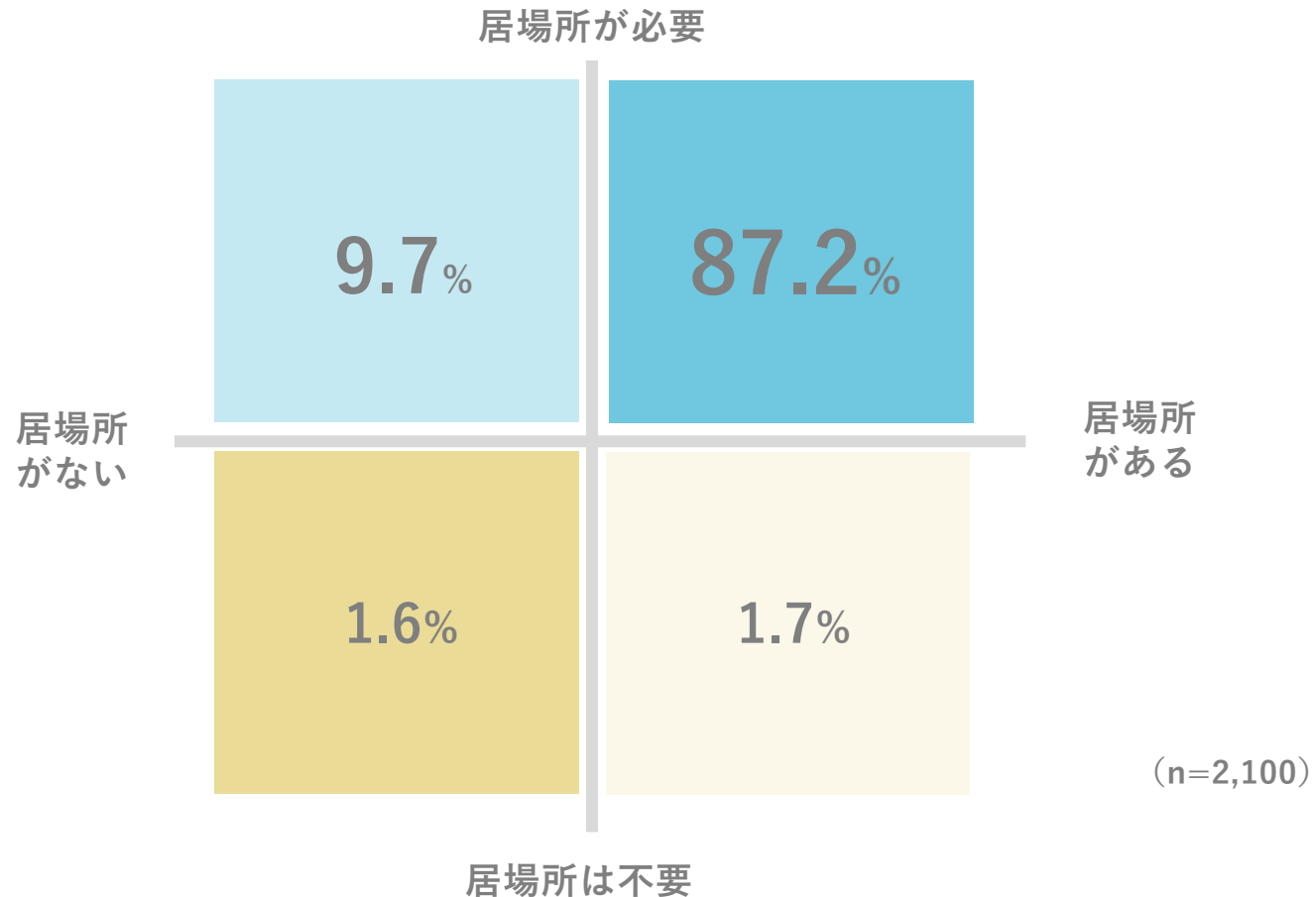
		n=	0%	20%	40%	60%	80%	100%	ある計 (1+2)	ない計 (3+4)
全体		(2,100)	62.9	25.8	7.7	3.6			88.7	11.3
年代別	10代	(300)	57.7	30.7	8.0	3.7			88.3	11.7
	20代	(300)	56.3	32.3	8.3	3.0			88.7	11.3
	30代	(300)	53.0	32.3	9.3	5.3			85.3	14.7
	40代	(300)	58.3	28.7	8.0	5.0			87.0	13.0
	50代	(300)	61.3	25.7	9.0	4.0			87.0	13.0
	60代	(300)	72.0	17.0	7.7	3.3			89.0	11.0
	70代	(300)	81.7	14.0	3.3	1.0			95.7	4.3

Q2 あなたには、自分の「居場所」だと思えるところがありますか。(SA)
【基数：対象者全員】

居場所の必要性×居場所の有無

居場所を「必要」としており、実際に居場所が「ある」のは全体で87.2%。

一方で全体の9.7%が居場所を「必要」としていながらも居場所が「ない」状態にある。



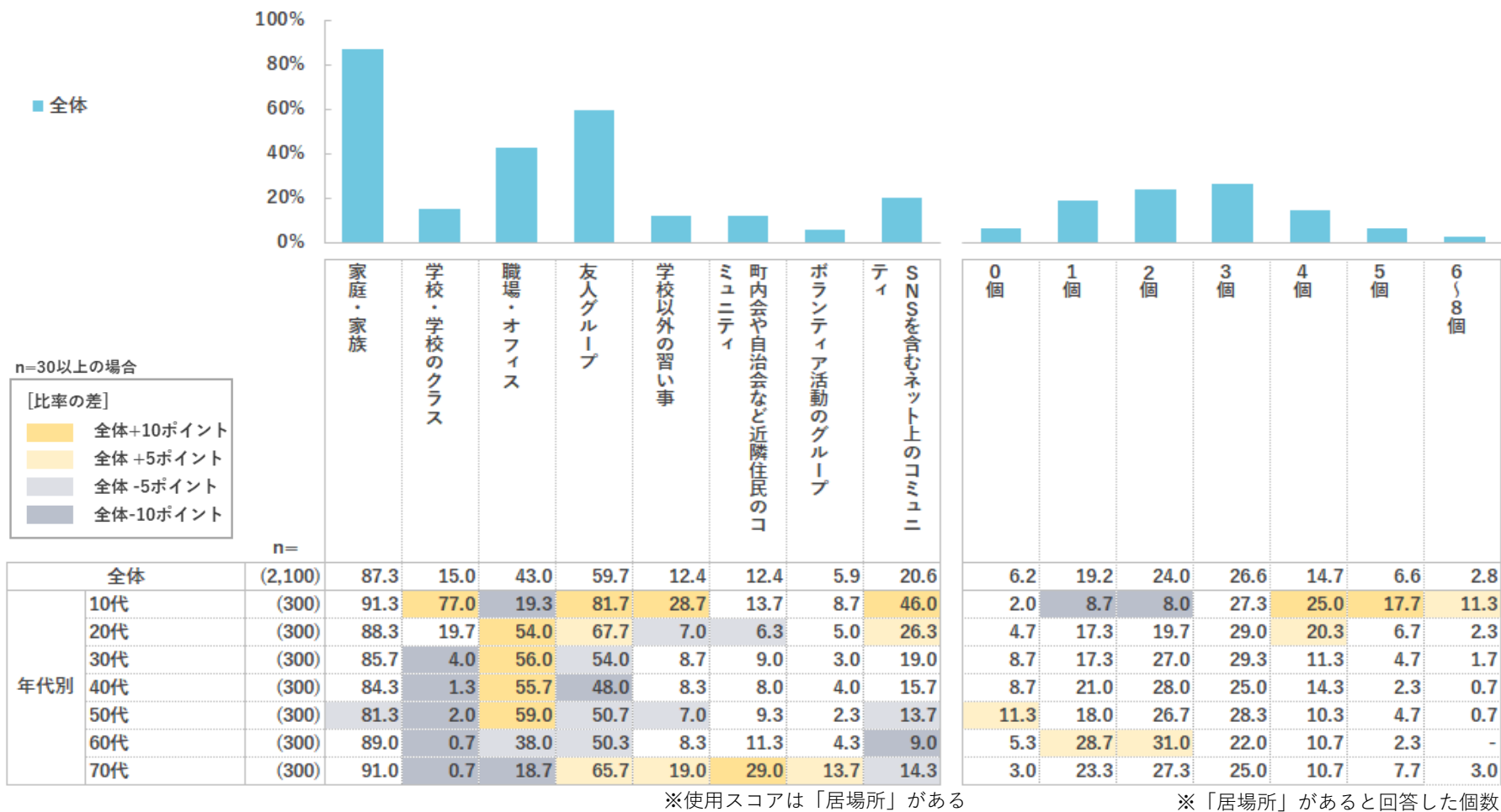
Q1 あなたにとって、「居場所」は必要ですか。(SA)

Q2 あなたには、自分の「居場所」だと思えるところがありますか。(SA)

【基数：対象者全員】

身近な集団や組織の中に居場所を感じるか

年代別に見ると、「家庭・家族」がどの世代でももっとも高い。全体の次点である「友人グループ」は10代が81.7%でもっとも高いが、30代～60代では半数程度にとどまっていた。SNSを含むネット上のコミュニティを感じるのは、10代で46.0%ともっとも高く、年代が上がるほど低くなり、60代でもっとも低く、70代では40～50代と同じ程度であった。



Q3 次の集団や組織の中に、あなたの「居場所」はありますか。それぞれについてお知らせください。
※該当する組織や集団が存在しない場合は、「この集団に所属していない」をお選びください。(MSA) 【基数：対象者全員】

居場所があることによる変化

居場所があることによる変化では「楽しみができた・増えた」がもっとも高い。

年代別に見ると、さまざまな変化を感じているのは10代であることがわかる。また「特に影響はない」は60代までは年代が上がるほど多い。



※「全体」のスコアで降順ソート

居住している地域社会の中にある居場所

居住している街や地域社会に「居場所だと感じる場所はない」と回答したのは、全体で32.5%。

居場所とを感じるのは、「カフェ・喫茶店」がもっとも高く18.6%、次いで「オフィス・職場・仕事場（14.8%）」、「図書館（13.1%）」が続く。

																																(%)			
		n=	カフェ・喫茶店（お茶をするところ）	先を含む） オフィス・職場・仕事場（アルバイト）	図書館	海辺、港、川べり、野原、山など自然 を感じられる場所	公園、ビオトープ	学校の練習所・たまり場 学校・専門学校・サークル・同好会な	商業施設（ショッピングセンター・ モールなど）	温泉・銭湯・スーパー銭湯	経営の商店	スーパーマーケット・コンビニ・個人	定食屋・レストラン（食事をするところ）	書店	美術館・博物館・科学館・動物園・水 族館・遊園地・テーマパーク	映画館・劇場・寄席	飲み屋・スナック・バー・居酒屋	屋内外のスポーツ施設	美容室・理髪店・エステ・マッサージ 施設	ゲームセンター・ボーリング・カラオ ケ・卓球場などの遊戯施設	神社・寺院・教会など宗教施設	喫煙所	施設	公民館・区民センターなどの自治体の 施設	塾・予備校・習い事の教室・スクール	病院（通院・検査・入院・お見舞いな ど）・デイケア・介護施設	町会・町内会・商工会議所・青年会な どの集会所	地域のコミュニティスペース・未就学 児の子育て支援スペース	農園（農業従事者ではなく、趣味で借 りている畑など）	ブ・子ども食堂・児童館	子どもや孫などが通う学校・学童クラ	コワーキングスペース	その他	住んでいる街や地域社会の中に、自分 の居場所だと感じる場所はない	回答個数平均
全体		(2,100)	18.6	14.8	13.1	11.8	11.1	10.9	10.9	10.6	10.0	9.4	9.0	8.0	7.9	7.8	7.6	7.5	5.9	5.5	4.7	4.0	3.9	3.5	2.7	2.5	2.0	1.9	1.4	2.8	32.5	2.1			
年代別	10代	(300)	17.3	4.0	14.7	11.3	11.7	43.7	12.7	9.7	11.7	8.3	14.3	7.0	10.0	4.0	7.0	7.7	13.7	6.0	1.7	4.3	13.7	3.7	2.3	2.7	2.3	3.3	2.3	2.3	21.7	2.5			
	20代	(300)	19.3	20.0	8.7	10.3	9.3	15.0	11.3	12.7	9.0	8.7	8.7	8.3	10.0	12.7	6.3	6.3	7.3	3.3	5.0	1.3	3.7	3.3	2.0	3.0	2.7	1.7	2.7	1.7	37.0	2.1			
	30代	(300)	21.7	19.7	10.0	10.3	9.3	4.0	11.0	10.7	8.3	8.3	6.3	7.3	8.0	8.0	5.0	5.3	7.3	4.0	4.7	1.7	2.0	3.3	1.7	4.3	1.3	4.3	2.7	2.0	37.7	1.9			
	40代	(300)	20.0	18.3	10.3	8.7	14.3	2.0	10.0	11.0	7.3	11.0	10.7	8.3	8.0	8.7	6.7	5.7	4.3	7.3	7.3	1.0	1.0	1.0	1.7	1.7	-	2.3	0.7	1.7	37.0	1.9			
	50代	(300)	18.0	21.7	10.0	12.7	11.0	3.3	12.3	8.7	11.7	10.3	8.0	6.3	5.3	8.7	4.3	7.7	4.0	4.7	7.3	2.7	0.7	3.3	1.7	0.7	0.7	0.7	0.3	2.7	33.0	1.9			
	60代	(300)	13.0	13.3	14.0	11.7	7.0	1.7	7.0	9.0	9.3	8.7	7.0	9.0	6.7	7.0	6.0	7.3	3.0	7.3	4.3	3.0	1.0	3.3	3.0	0.7	3.0	-	0.7	4.7	38.3	1.7			
	70代	(300)	20.7	6.7	24.0	17.7	15.0	6.7	11.7	12.3	13.0	10.3	7.7	9.3	7.3	5.7	17.7	12.7	1.7	5.7	2.7	13.7	5.0	6.7	6.7	4.3	4.3	0.7	0.3	4.3	23.0	2.5			

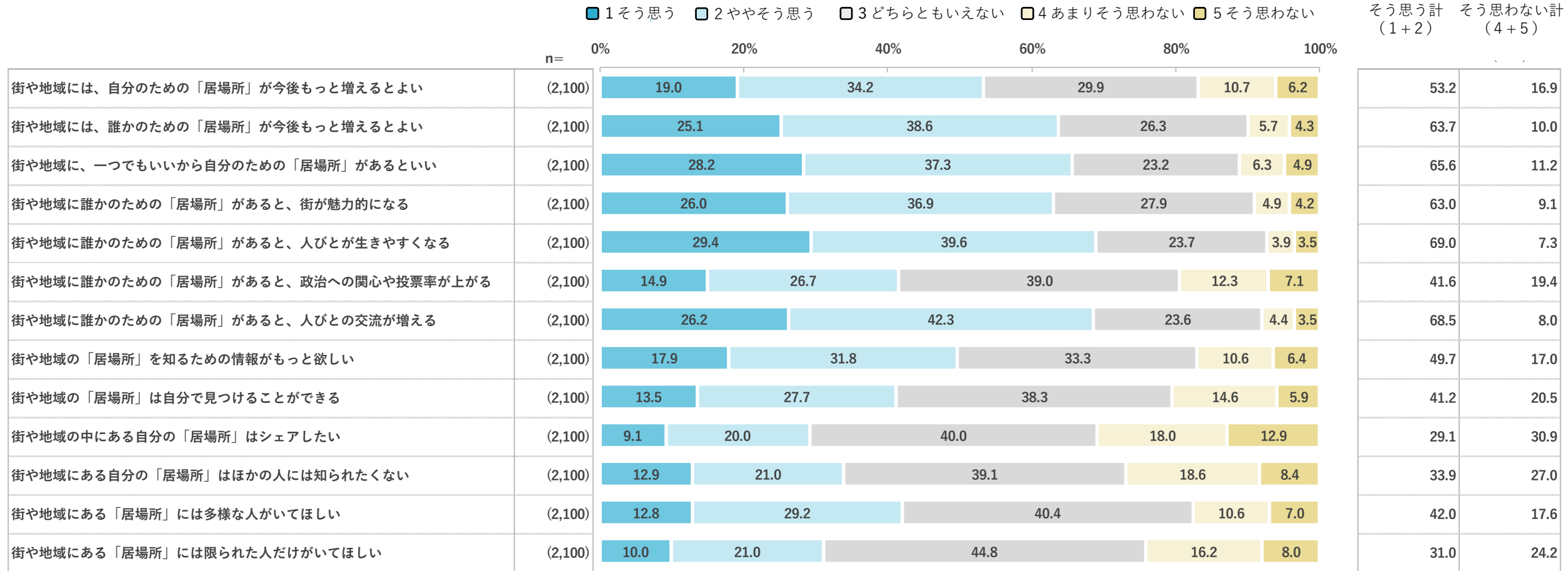
※「全体」のスコアで降順ソート

Q6 お住まいの街や地域社会の中に、あなたが自分の「居場所」だと感じている場所がありますか。あてはまる場所をすべてお知らせください。（MA）

【基数：対象者全員】

居住する街や地域にある居場所に求める役割や期待（全体）

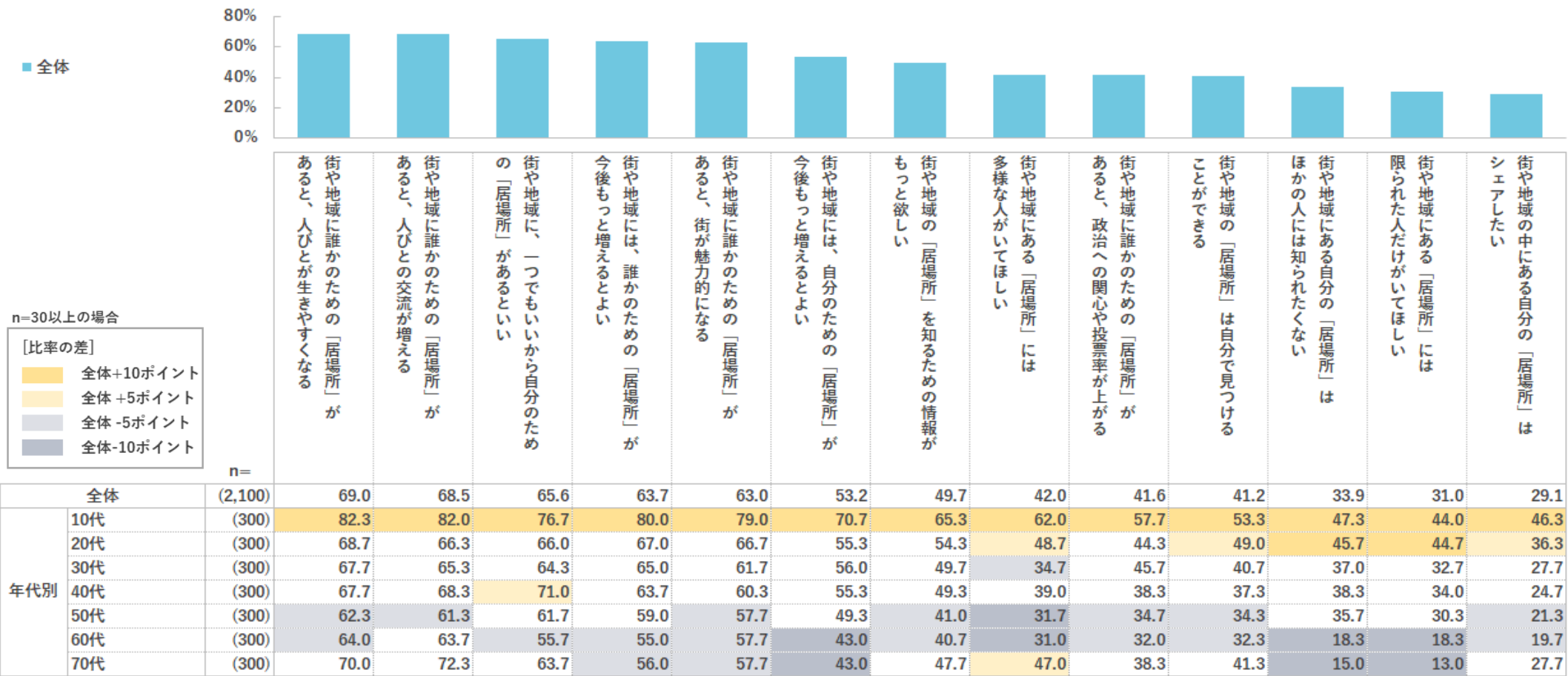
「居場所があると、人びとが生きやすくなる(69.0%)」、「居場所があると、人びとの交流が増える（68.5%)」、「一つでもいいから自分のための居場所があるといい（65.6%)」などが高い回答率を示した。



Q5 街や地域にある「居場所」に関する次のような考えについて、そう思いますか、それともそうは思いませんか。
それぞれについてあてはまるものをお知らせください。（MSA） 【基数：対象者全員】

居住する街や地域にある居場所に求める役割や期待（年代別）

年代別に見ると、10代は他の世代と比べて「居場所」への期待が多岐にわたる。
「多様な人がいてほしい」という期待は10代で6割、20代で約半数、30～60代では3割台にとどまるものの、70代で再び約半数となる。
「ほかの人には知られたくない」「限られた人だけがいてほしい」と回答したのは10～20代では4割台、30～50代では3割台。

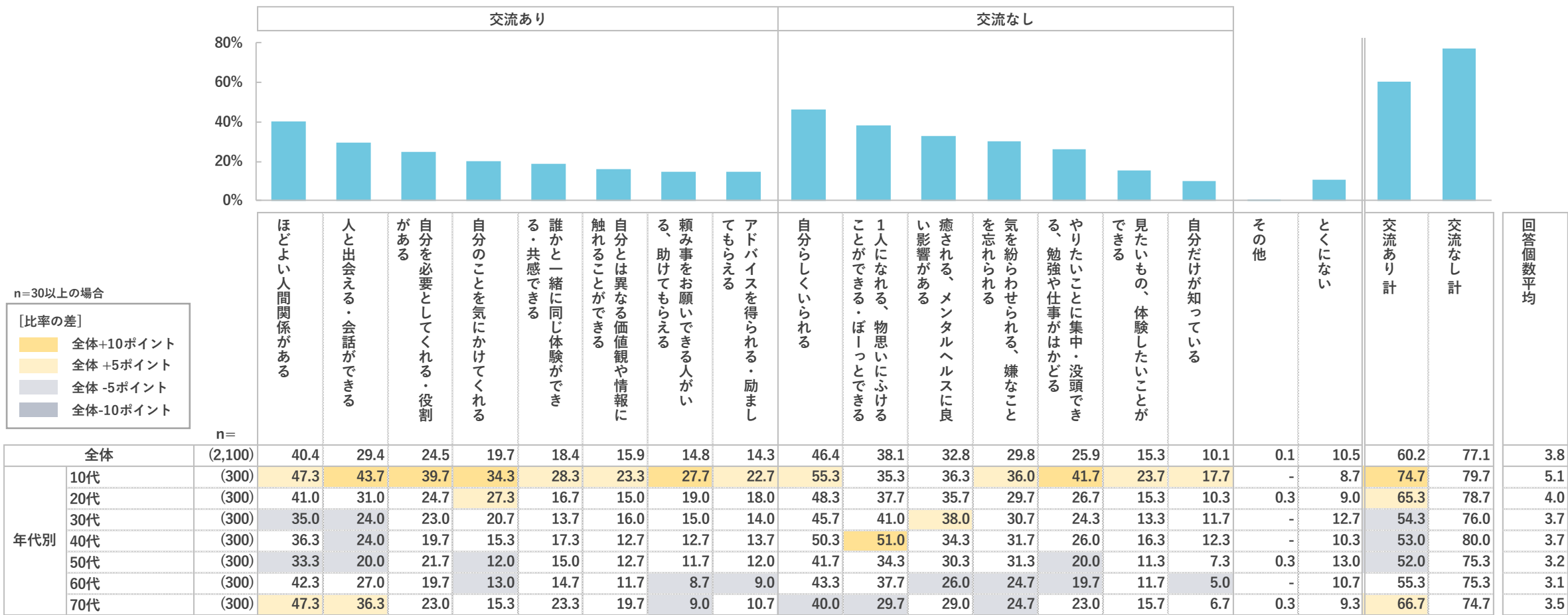


※使用スコアはTOP 2（「そう思う」+「ややそう思う」） ※「全体」のスコアで降順ソート

Q5 街や地域にある「居場所」に関する次のような考えについて、そう思いますか、それともそうは思いませんか。
それぞれについてあてはまるものをお知らせください。（MSA） 【基数：対象者全員】

居場所に期待すること

居場所に期待することでは、人との交流を求める「交流あり計(60.2%)」より、人との交流を求めない「交流なし計 (77.1%)」がやや多い。
年代別に見ると、「交流あり計」が10代で7割超、20代で6割超と高く、30～50代では半数程度にとどまる。
しかし70代になると、「交流あり計」が66.7%と再び高くなるU字傾向が見られた。



Q7 あなたが「居場所」に期待していることにはどのようなものがありますか。あてはまるものをすべてお知らせください。(MA)
【基数：対象者全員】

第2章

「居場所」の有無がもたらす影響

居場所の有無は、私たちの普段の暮らしに
どのような影響を与えているのでしょうか？

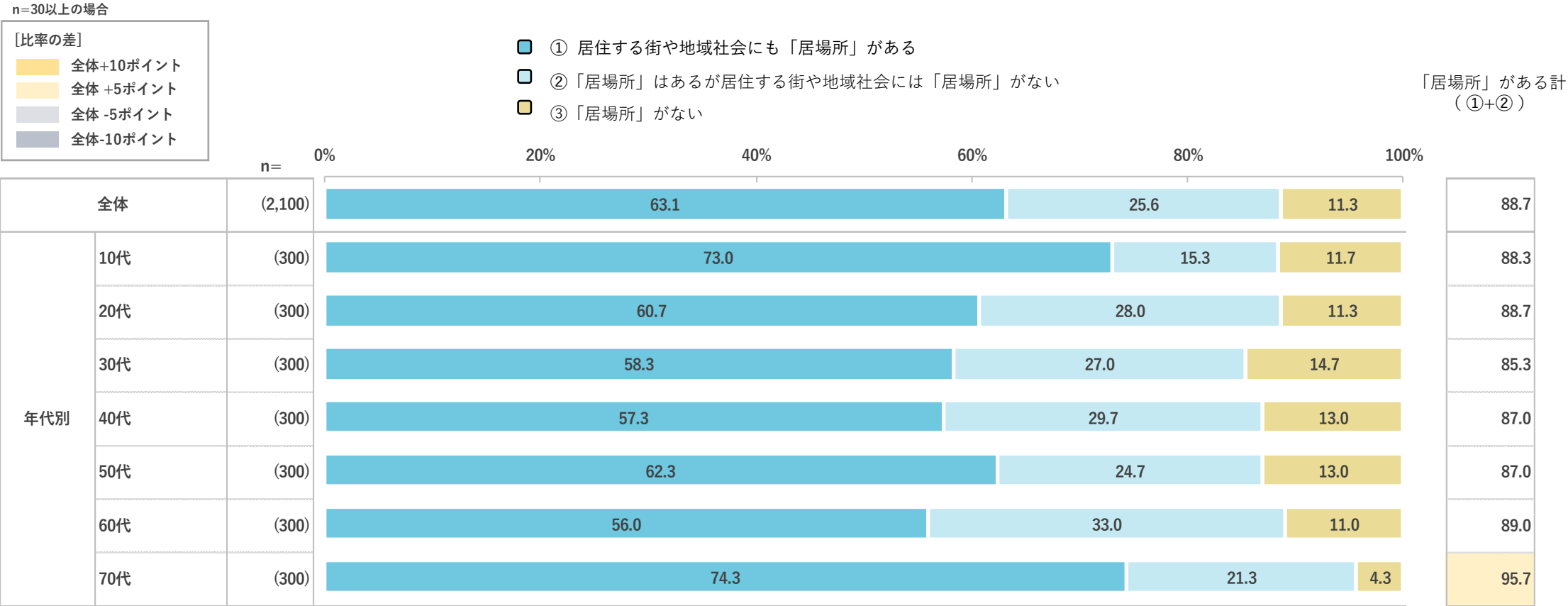
本章では、居場所の有無に着目し、
行動や意識、心理的な影響について分析しました。

居場所があることと、ないこと。
その違いが私たちの日常や未来への見方をどのように変えるのか。

居場所の存在がコミュニケーションや
社会的な行動に及ぼす影響について考えます。

居住する街や地域における居場所の有無

- ①[居住する街や地域社会にも居場所がある]層は全体で63.1%。年代別では70代が74.3%でもっとも高い。
- ②[居場所はあるが居住する街や地域社会には居場所がない]層は全体で25.6%。年代別では60代が33.0%でもっとも高い。



Q2 あなたには、自分の「居場所」だと思えるところがありますか。(SA)

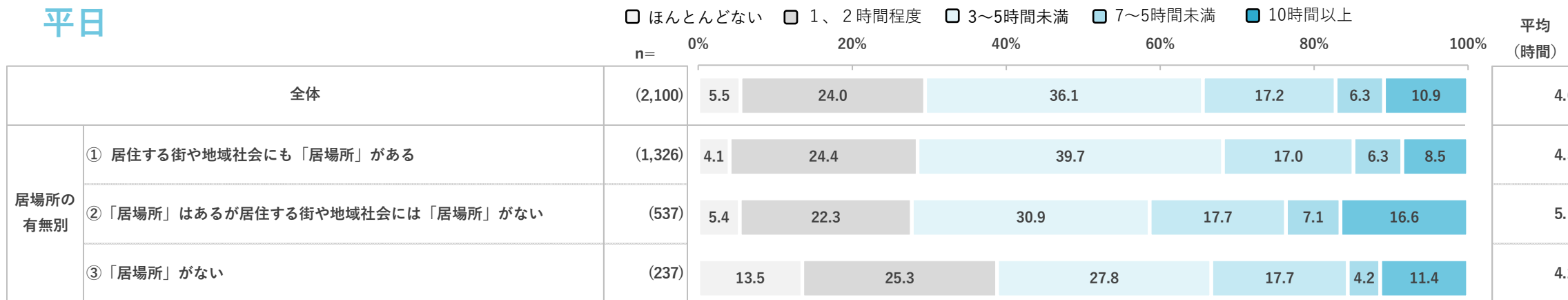
Q6 お住まいの街や地域社会の中に、あなたが自分の「居場所」だと感じている場所がありますか。あてはまる場所をすべてお知らせください。(MA)

【基数：対象者全員】

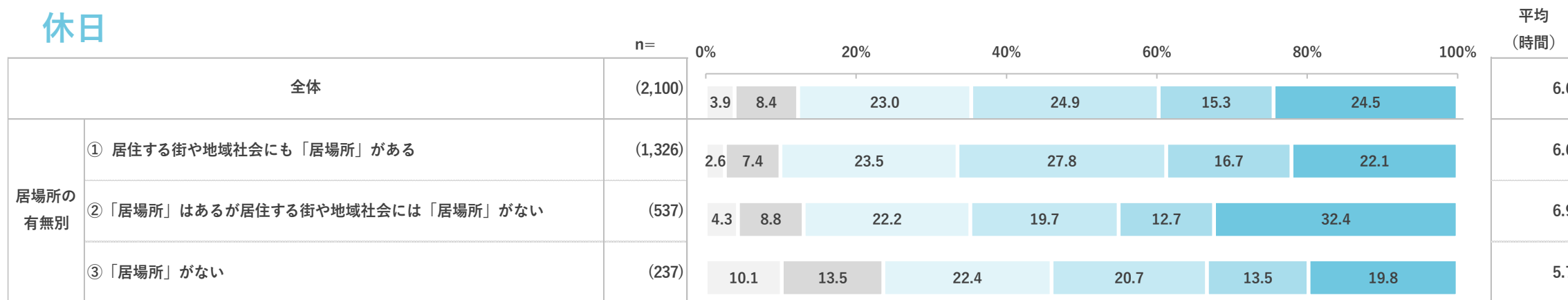
居場所の有無と普段の自由時間

③[居場所がない]層は、平日・休日ともに自由時間が「ほとんどない」「1、2時間」の回答率が他層と比較して高い。

平日



休日



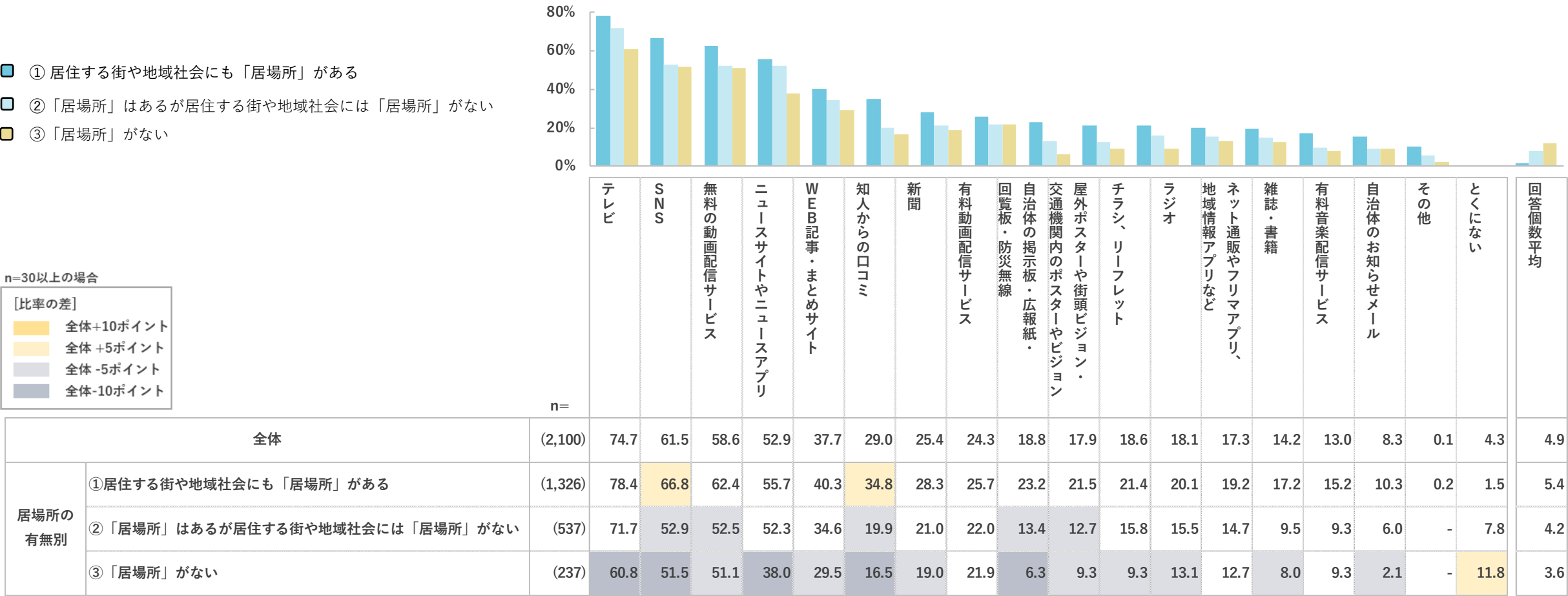
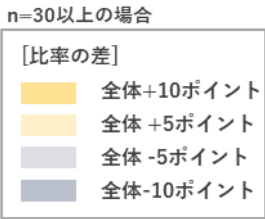
Q15 1日のうち仕事や家事、睡眠時間を除いた自由に使える時間はどれくらいですか。平日、休日それぞれについてお知らせください。(MSA)

【基数：対象者全員】

居場所の有無と普段見ている情報源

①②の[居場所がある]層は、普段見ている情報源が多岐にわたる。「SNS」と「知人からの口コミ」は層による差が大きく、
①[居住する街や地域社会にも居場所がある]層では、②[居場所があるが居住する街や地域社会には居場所がない]層と比較して、
「SNS」では13.9ポイント、「知人からの口コミ」では14.9ポイントの開きがある。

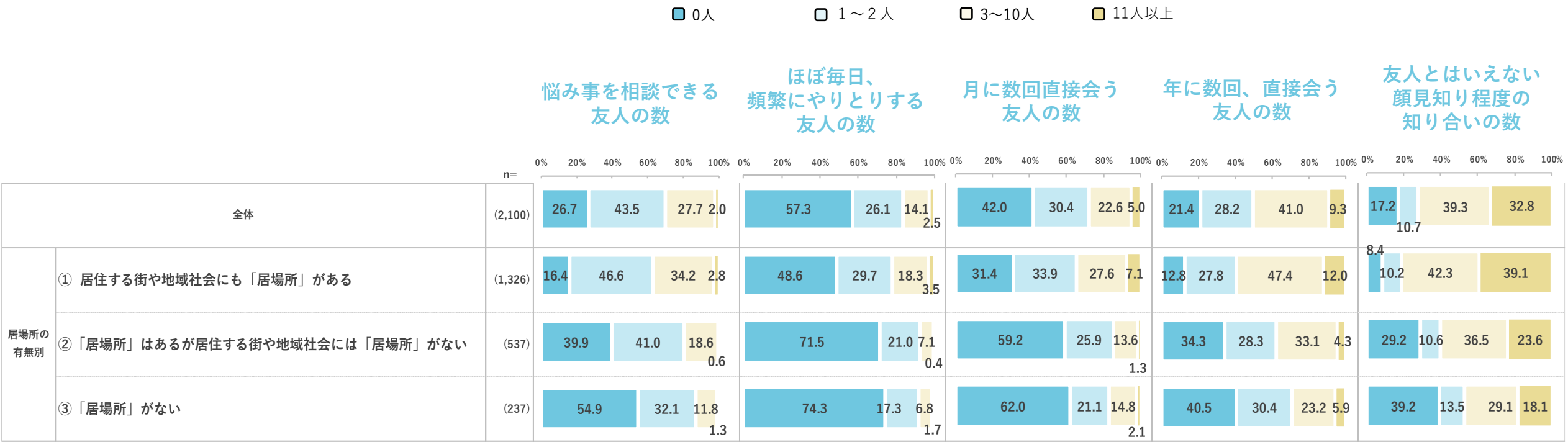
- ① 居住する街や地域社会にも「居場所」がある
- ② 「居場所」はあるが居住する街や地域社会には「居場所」がない
- ③ 「居場所」がない



①[居住する街や地域社会にも「居場所」がある]のスコアで降順ソート

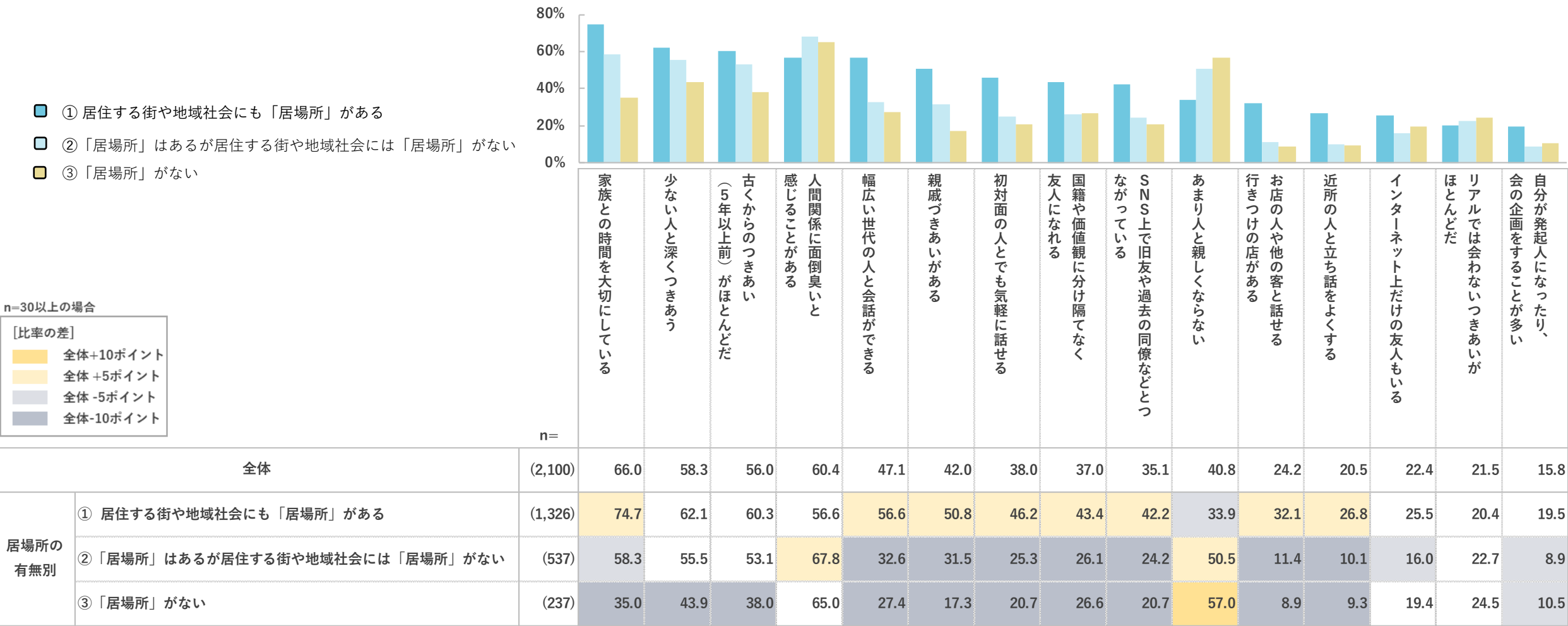
居場所の有無と交流人数

①[居住する街や地域社会にも居場所がある]層は、他層よりも交流人数が多い。
一方、③[居場所がない]層は「悩み事を相談できる友人」が「0人（54.9%）」、「頻繁にやり取りする友人」が「0人（74.3%）」、「月に数回直接会う友人」が「0人（62.0%）」など、他層よりも交流人数が少ない傾向が浮かび上がった。



居場所の有無と交友関係

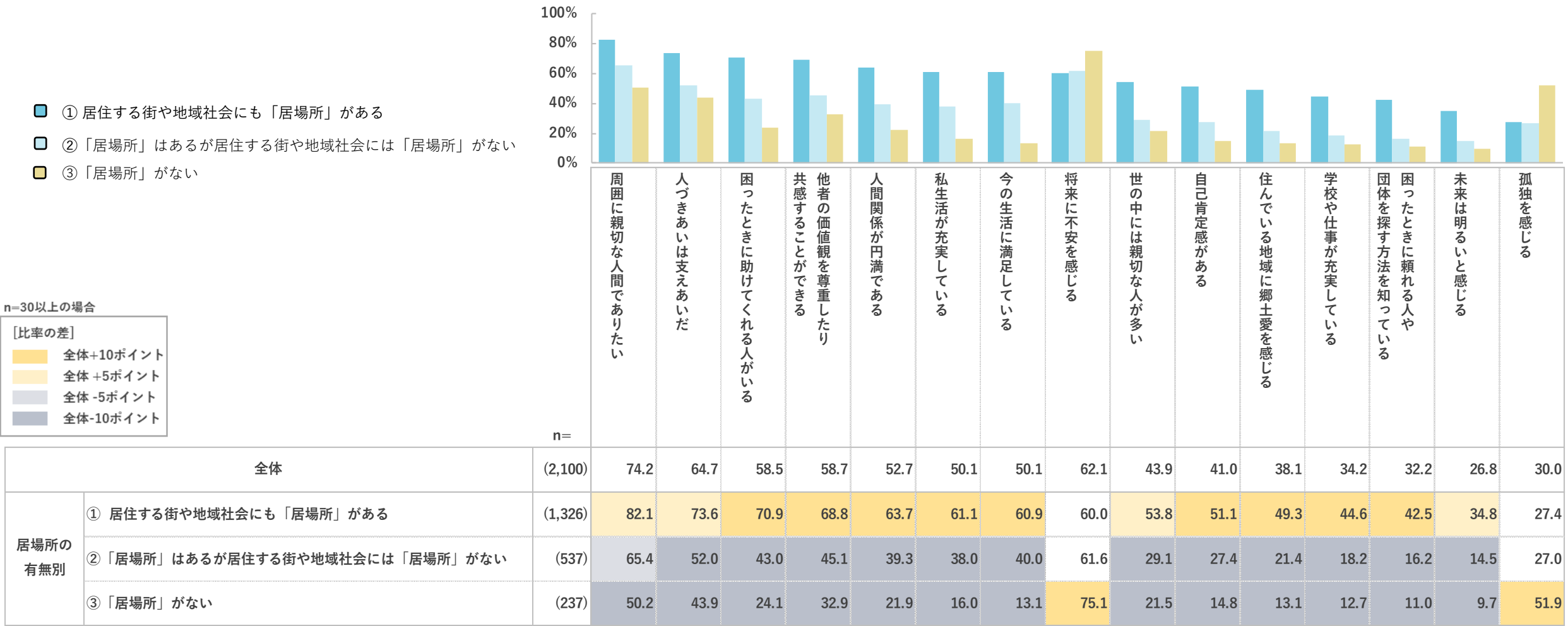
①[居住する街や地域社会にも居場所がある]層は、他層よりもさまざまな交友関係をもっていることがうかがえる。
一方、③[居場所がない]層は全体に回答率が低いなかで、「あまり人と親しくならない（57.0%）」が全体と比較して16.2ポイント高いことが目立つ。



※使用スコアはTOP 2（「そう思う」＋「ややそう思う」） ①[居住する街や地域社会にも居場所がある]のスコアで降順ソート

居場所の有無と生活意識

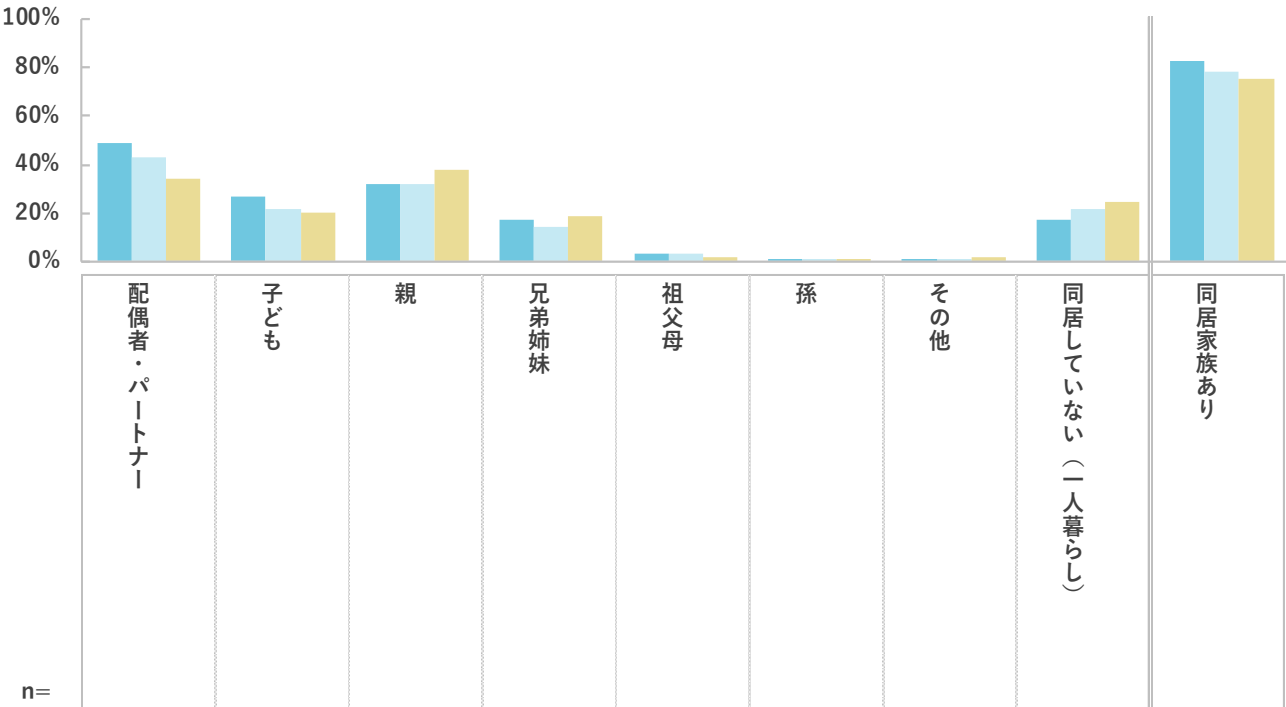
①[居住する街や地域社会にも「居場所」がある]層は、他層よりも人間関係や生活充実度に関する自己評価が高い傾向が見られる。
一方、③[居場所がない]層は「将来に不安を感じる（75.1%）」「孤独を感じる（51.9%）」など、ネガティブな項目に対する回答率の高さが目立つ。



居場所の有無と同居家族構成

①[居住する街や地域社会にも居場所がある]層は、他層よりも配偶者・パートナーがいる傾向。
一方、③[居場所がない]層は、他層よりも「同居していない（一人暮らし）」が相対的に高い。

- ① 居住する街や地域社会にも「居場所」がある
- ② 「居場所」はあるが居住する街や地域社会には「居場所」がない
- ③ 「居場所」がない



n=30以上の場合

[比率の差]

- 全体+10ポイント
- 全体+5ポイント
- 全体-5ポイント
- 全体-10ポイント

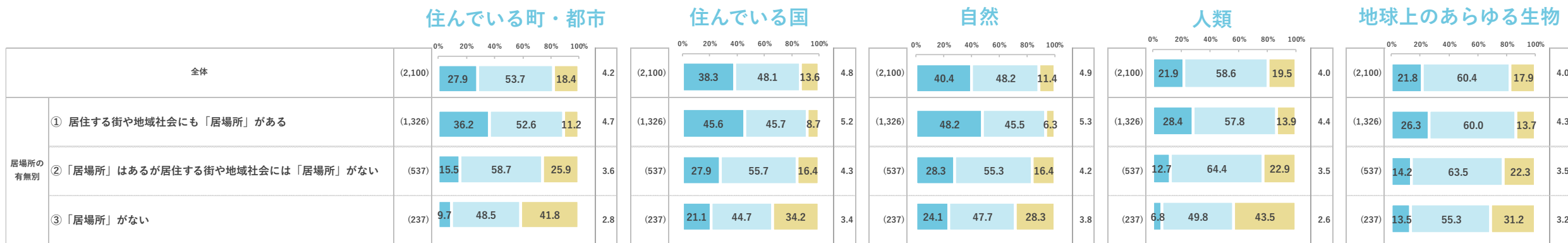
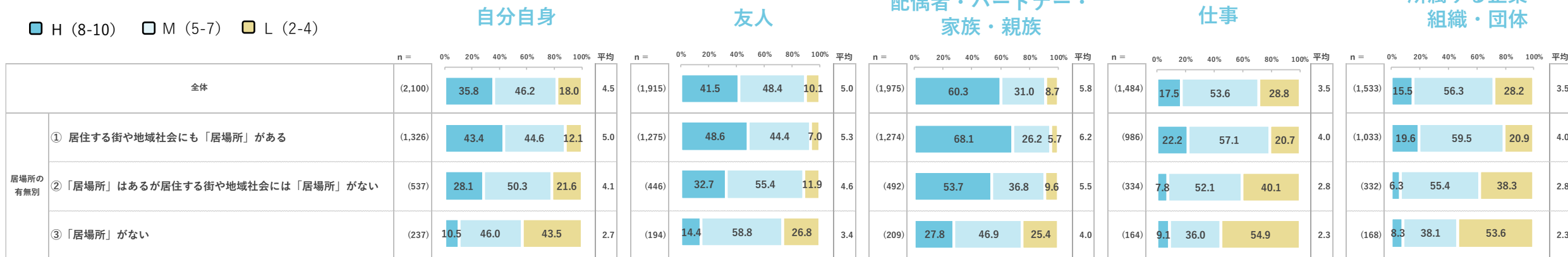
全体		n=	配偶者・パートナー	子ども	親	兄弟姉妹	祖父母	孫	その他	同居していない（一人暮らし）	同居家族あり
		(2,100)	45.7	24.8	32.9	16.9	3.0	0.7	1.0	19.5	80.5
居場所の有無別	① 居住する街や地域社会にも「居場所」がある	(1,326)	48.9	26.7	32.3	17.6	3.2	0.8	1.1	17.6	82.4
	② 「居場所」はあるが居住する街や地域社会には「居場所」がない	(537)	42.8	22.0	32.2	14.2	3.0	0.2	0.6	21.8	78.2
	③ 「居場所」がない	(237)	34.2	20.3	37.6	19.0	2.1	0.8	1.7	24.9	75.1

居場所の有無と愛情意識

①[居住する街や地域社会にも居場所がある]層は、多くの対象について愛情を示す傾向が見られる。

10項目それぞれに対して愛情を感じる程度を10段階で回答してもらったところ、①[居住する街や地域社会にも居場所がある]層は、平均値4.0から6.2と、すべての項目で他層よりも高い平均値を示した。一方、③[居場所がない]層は、「仕事」「所属する企業・組織・団体」（いずれも平均値2.3）をはじめ、すべての項目で他層よりも低い平均値を示した。

■ H (8-10) ■ M (5-7) ■ L (2-4)



Q16 あなたは、以下の対象にどの程度愛情を感じていますか。1「該当しない」、2「まったく愛情を感じていない」～10「とても愛情を感じている」まで、

10段階でどこにあてはまるかお知らせください。(MSA) 【基数：対象者全員 (※)】

(※「友人」「配偶者・パートナー・家族・親族」「仕事」「所属する企業・組織・団体」の図表スコアは所属ありベース。

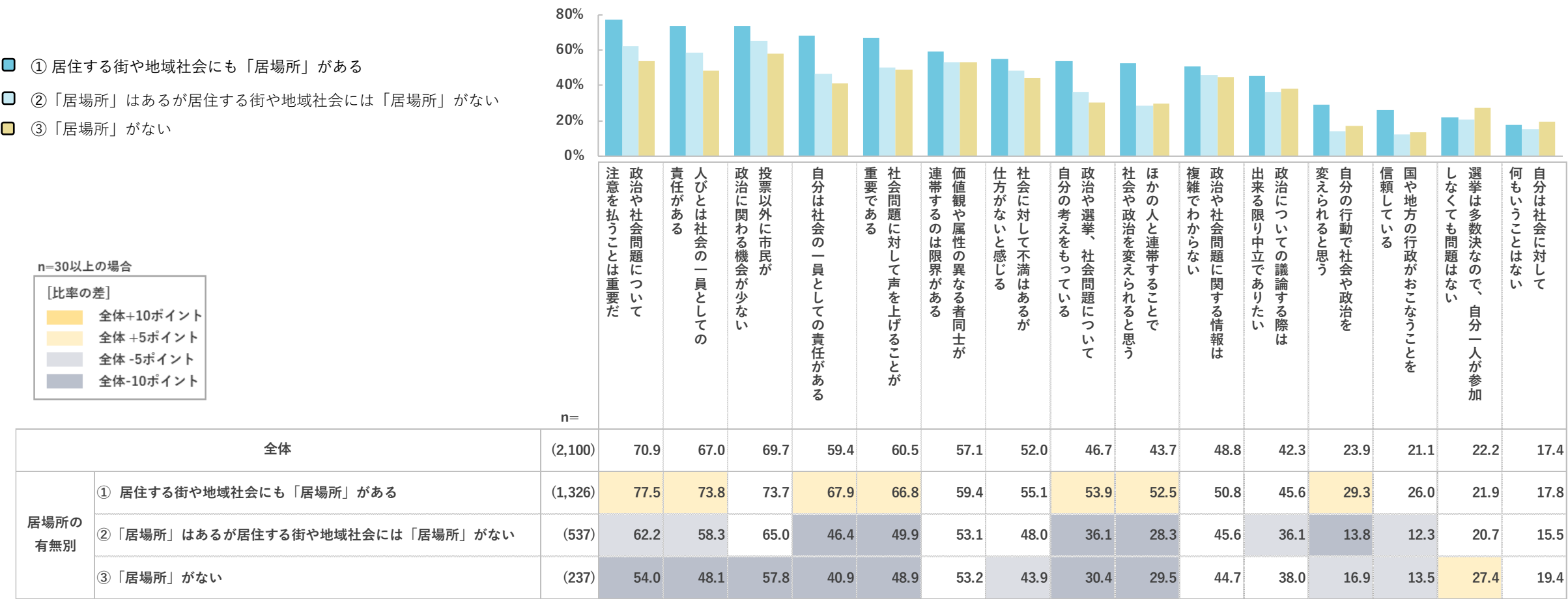
平均値は、2「まったく愛情を感じていない」：0点、10「とても愛情を感じている」：8点としてウェイト平均を算出。)

居場所の有無と社会参画への意識

①②の[居場所がある]層では社会参画への意識が高い傾向が見られる。

①[居住する街や地域社会にも居場所がある]層が他層よりも20ポイント以上高かったのは、
「自分は社会の一員としての責任がある（67.9%）」、「ほかの人と連帯することで社会や政治を変えられると思う（52.5%）」であった。

- ① 居住する街や地域社会にも「居場所」がある
- ② 「居場所」はあるが居住する街や地域社会には「居場所」がない
- ③ 「居場所」がない



※使用スコアはTOP 2（「そう思う」＋「ややそう思う」） ①[居住する街や地域社会にも「居場所」がある]層のスコアで降順ソート

Q14 次の項目について、あなたの考えにもっとも近いものをそれぞれお知らせください。（MSA）

【基数：対象者全員】

居場所の有無と社会的な活動

- ①[居住する街や地域社会にも居場所がある]層は、社会的な活動に関するすべての項目で、他層よりも高い回答率を示した。
- ①[居住する街や地域社会にも居場所がある]層で回答の上位を占めたのは「国の選挙（国会議員）の投票に行く（44.9%）」、「
「地元の選挙（村・区・町・市議会）の投票に行く（42.1%）」など、選挙への投票行動だった。

			(%)														
		n=	国の選挙（国会議員）の投票に行く	地元の選挙（村・区・町・市議会）の投票に行く	近所の人と話をする	お祭りや催し物など地域のイベントに行く	国の政治（政府や国会）に興味を持つ	社会問題に関する情報収集をする	近隣の飲食店・商店に対する購買支援をおこなう	町会・町内会・自治会などに参加する	寄付をする（募金・クラウドファンディングなど）	会、区議会など）に興味を持つ	署名に協力する	地元でボランティア活動をする	遠方の特産品について購買支援をおこなう	地元の困りごとの解決を手伝う	遠方にボランティア活動をしに行く
全体		(2,100)	40.4	35.6	24.1	21.7	20.9	12.1	11.1	11.8	11.3	8.3	8.1	6.0	5.4	2.7	2.3
居場所の有無別	① 居住する街や地域社会にも「居場所」がある	(1,326)	44.9	42.1	32.1	28.5	25.4	15.8	15.7	15.5	15.2	11.2	11.1	8.1	7.1	4.0	3.3
	② 「居場所」はあるが居住する街や地域社会には「居場所」がない	(537)	34.3	25.0	11.7	10.1	13.2	5.2	3.7	5.6	4.7	3.5	2.6	2.2	2.2	0.4	0.6
	③ 「居場所」がない	(237)	29.1	23.6	7.2	10.1	13.1	7.6	2.5	5.1	4.2	3.0	3.8	2.5	3.4	0.8	0.4

※①[居住する街や地域社会にも「居場所」がある]層のスコアで降順ソート、上位15位までを掲載

第3章

社会参画と「居場所」の関係

私たちは多様な方法で社会と関わりながら日々を送っています。

その関わりの強さや頻度によって、
居場所に対するまなざしは変わるのでしょうか？

本章では、社会参画度の差に着目し、
その度合いによって居場所に求める役割や期待がどのように違うのかを分析しました。
居場所が個人の社会的つながりや行動を支えるだけでなく、
社会参画を促進するための重要な基盤になり得るのか。

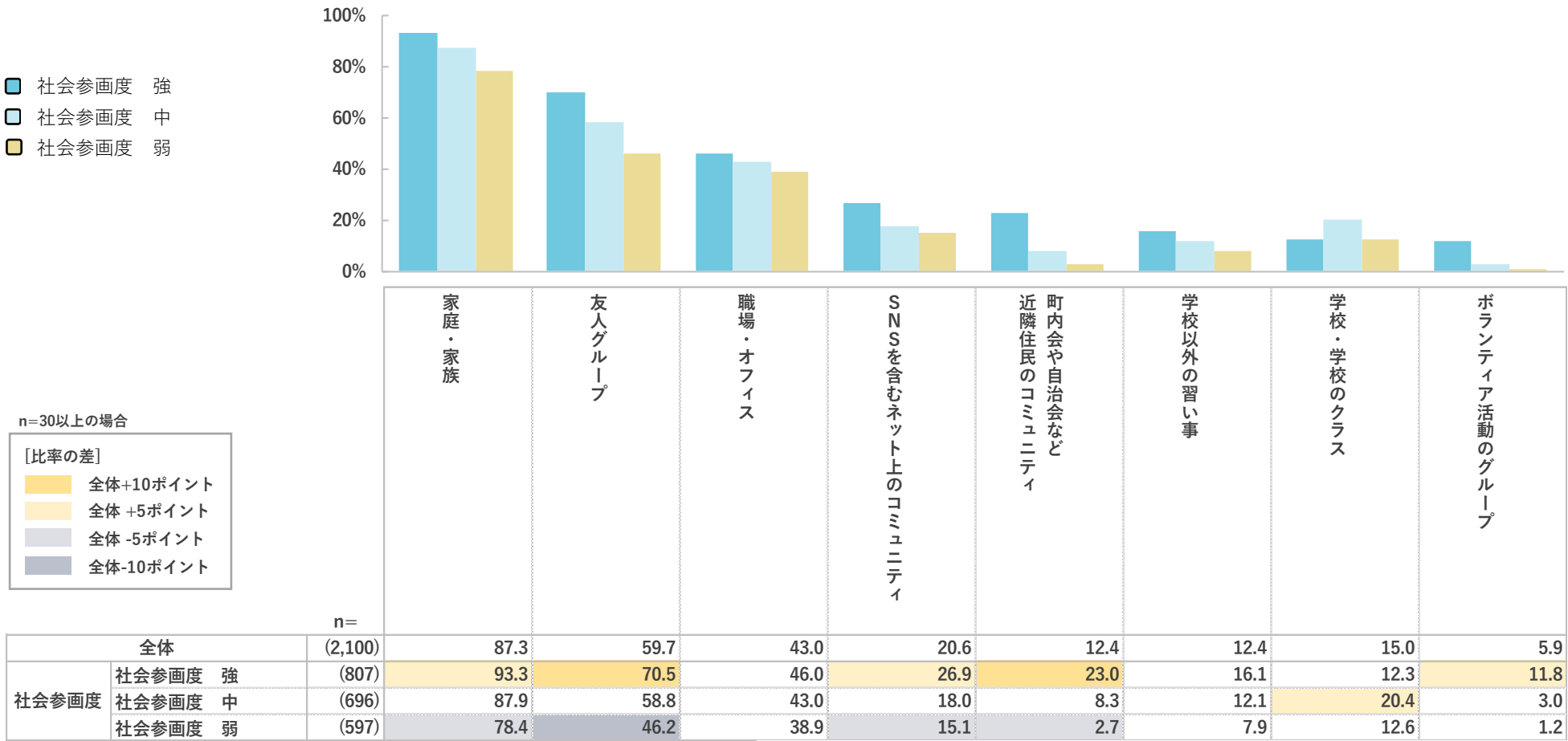
社会参画の意識と居場所の関係性をみていきます。

※本章で用いる社会参画度は、P27（Q9）の回答個数によって定義した

・社会参画度 強：回答個数が3個以上 ・社会参画度 中：回答個数が1個～2個 ・社会参画度 弱：回答個数が0個

居場所とを感じる組織や集団

[社会参画度]が強い層ほど、「家庭・家族」「友人グループ」「職場・オフィス」などの組織や集団の中に居場所があると感じる人が多い傾向が見られる。



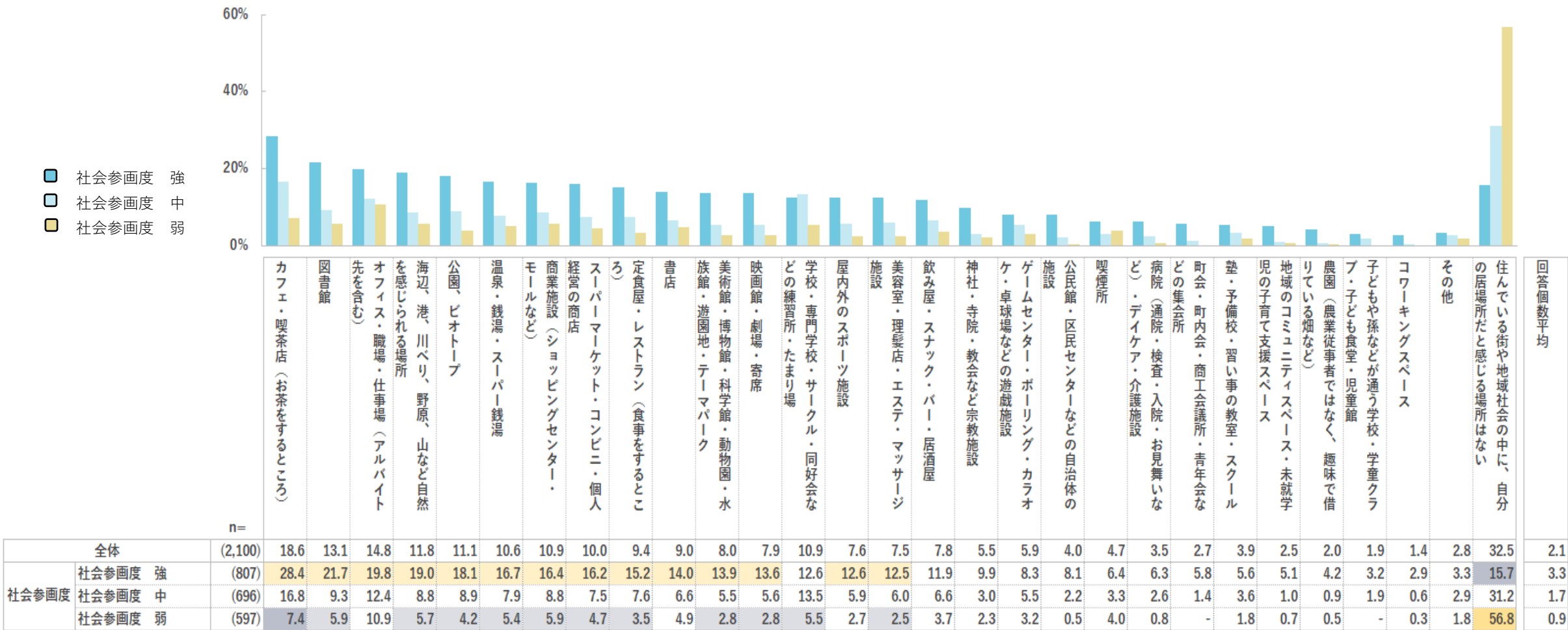
※使用スコアは「居場所がある」 ※「社会参画 強」のスコアで降順ソート

Q3 次の集団や組織の中に、あなたの「居場所」はありますか。それぞれについてお知らせください。
※該当する組織や集団が存在しない場合は、「この集団に所属していない」をお選びください。(MSA) 【基数：対象者全員】

居住する街や地域社会の中にある居場所

[社会参画度]が強い層ほど、地域社会の中のさまざまな場所を居場所だと感じている。

[社会参画度 弱]層では「地域に自分の居場所だと感じる場所はない」は56.8%と、全体と比較して24.3ポイント高い。



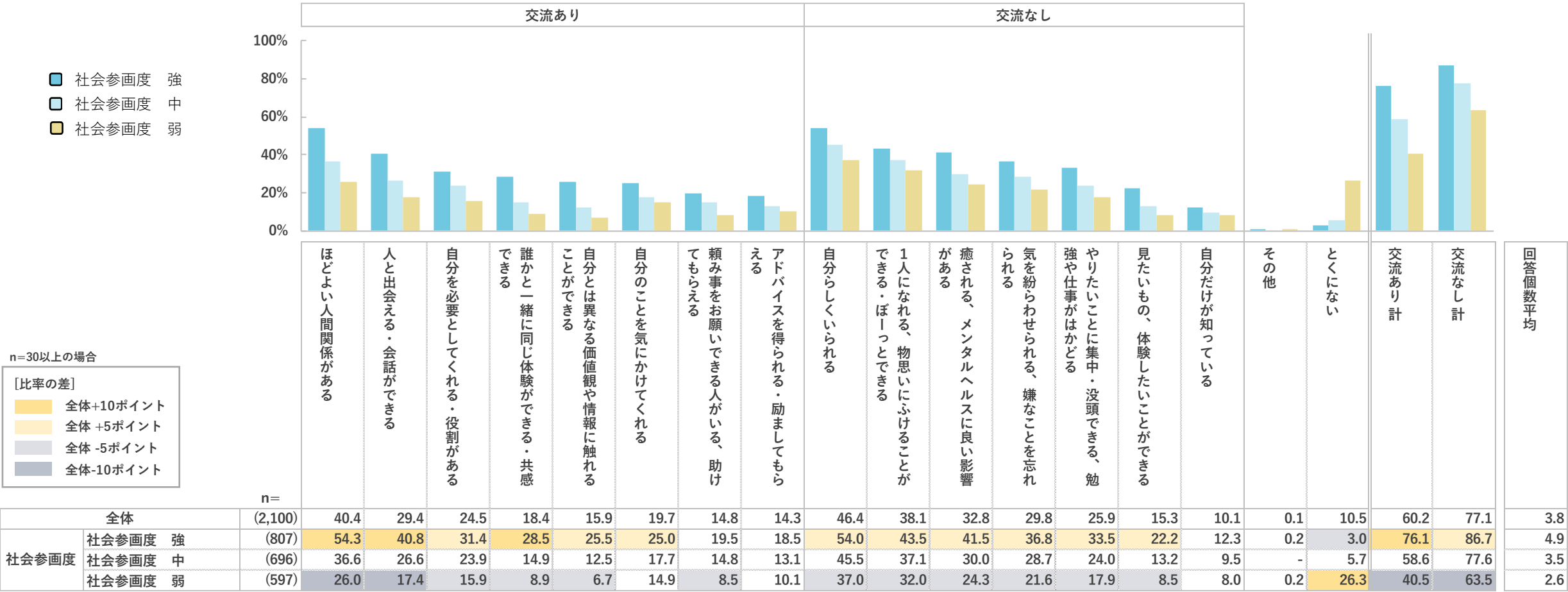
※「社会参画 強」のスコアで降順ソート

Q6 お住まいの街や地域社会の中に、あなたが自分の「居場所」だと感じている場所がありますか。あてはまる場所をすべてお知らせください。(MA)

【基数：対象者全員】

居場所に期待すること

[社会参画度]が強い層ほど、人との交流の有無を問わず、居場所にさまざまな期待をもっている。
特に、他者との交流を求める「交流あり計」では[社会参画度]による差が顕著で、
[社会参画度 強]層（76.1%）と[社会参画度 弱]層（40.5%）では35.6ポイントもの差がある。

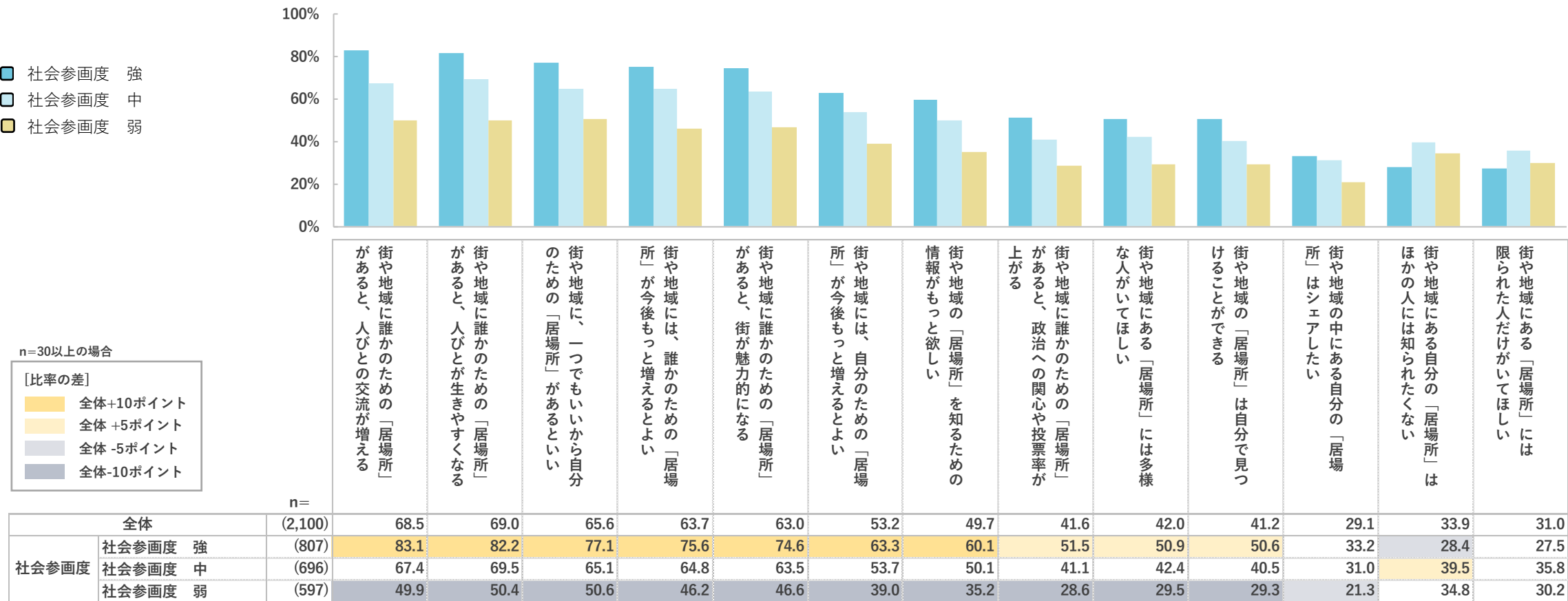


※カテゴリごとに、「社会参画 強」のスコアで降順ソート

Q7 あなたが「居場所」に期待していることにはどのようなものがありますか。あてはまるものをすべてお知らせください。（MA）
【基数：対象者全員】

居場所に関する考え方

[社会参画度]が強い層ほど、居場所に求める事柄が多い。
自分の居場所を「ほかの人には知られたくない」「限られた人だけがいてほしい」は[社会参画度 中]層でもっとも高い。



※使用スコアはTOP 2（「そう思う」＋「ややそう思う」） ※「社会参画 強」のスコアで降順ソート

Q5 街や地域にある「居場所」に関する次のような考えについて、そう思いますか、それともそうは思いませんか。
それぞれについてあてはまるものをお知らせください。（MSA） 【基数：対象者全員】

第4章

つながりのあり方と、それぞれの「居場所」

私たちは、他者とのつながり方や社会に関して多様な価値観をもっています。

その違いによって居場所に求めるものも変わるのでしょうか？

本章では、他者とのつながり方や社会に関する意識をクラスターに分類し、

それぞれの「居場所」の捉え方の特徴を整理しました。

6つに分類されたクラスターごとに、

どのような居場所像をもっているのか、その傾向を俯瞰することで

居場所の機能や役割の多様性について考えていきます。

各クラスターの特性

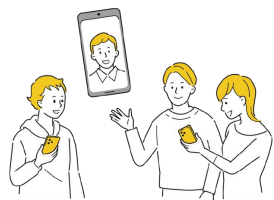
生活意識（Q8）、交友関係（Q11）、社会参画に関する意識（Q14）を基に因子を抽出し、クラスター分析をおこなった結果、次の6クラスターに分類された。

1 リアル交流重視層



高齢層の割合が高く、配偶者や子どもとの同居者が多い。幅広いつながりを大切にし、リアルでの交流を重視。選挙や地域活動への参加意識が高く、地域の活性化に寄与する姿勢が特徴的。

2 広くつながりたい層

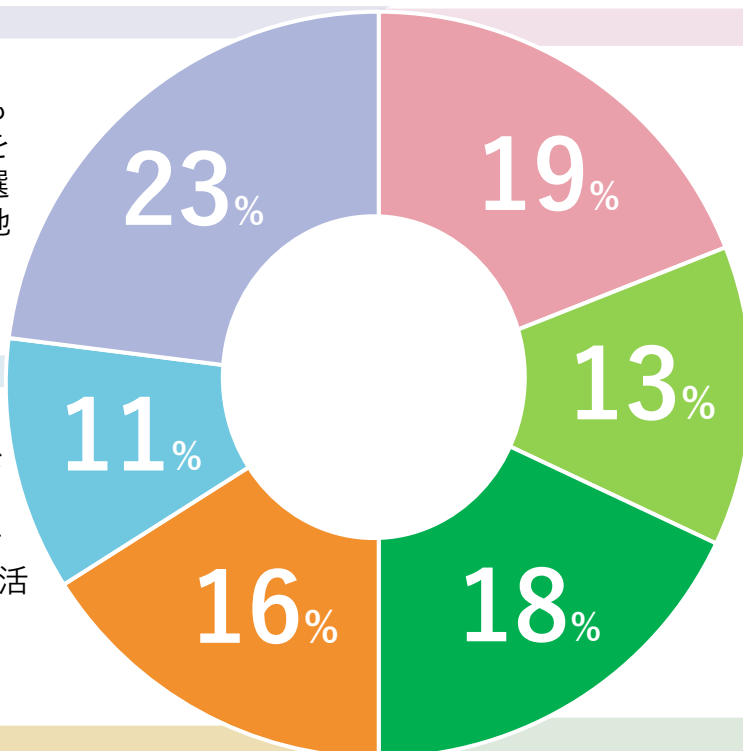


10～30代の若年層（特に男性）が多く、未婚で親や兄弟姉妹との同居者が多い。リアルとオンラインの両方で広範なつながりを求める。社会参画に対しても積極的で、地域イベントや寄付活動などを通じて地域社会との関係を深める意識も高い。

3 オンライン交流重視層

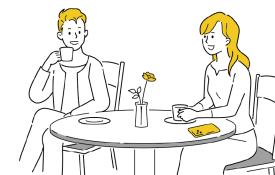


10代の学生を中心とした若年層が多い。リアルとオンラインを使い分けており、オンラインでの交流に積極的。自分のペースで他者とつながる自由さを優先する傾向。社会問題や政治への関心が高い。



4 人付き合い深く狭く層

女性の割合が高く、配偶者と同居している人が多い。既存の親しい人間関係を大切にしている、新しく交友関係や行動範囲を広げることには関心は低い。社会参画や地域活動にもやや消極的。



5 つながり不足層

10代と30代の女性が多く、未婚で親と同居している人が多い。他クラスターと比較して、友人や知り合いの数が少なくつながりが希薄。孤独を感じており、将来への不安がある。社会問題や政治への関心が低い。



6 つながり無関心層

男性（特に20～50代）の割合が高く、一人暮らしが多い。他者との交流や社会とのつながりへの関心があまりない。地域社会への愛情や関心も希薄で、社会問題や政治への関心が低く、選挙に行っている人も少ない。



各クラスターの居場所観

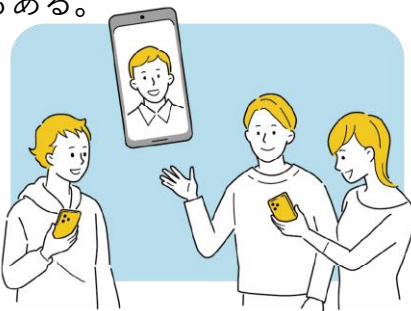
1 リアル交流重視 層

居場所にリアルな他者との交流を求めている。居場所があることで、楽しみや交友関係ができる・増えると考えており、居場所は地域への愛着や魅力、人間関係を醸成するものと捉えている。



2 広くつながりたい 層

リアル・オンライン双方に居場所をもち、多様な人とのつながりが広がっていくことを期待している。居場所に多様な人がいることを求めて居場所をシェアする一方で、自分たちだけの場所にしたがり気持ちもある。



3 オンライン交流重視 層

オンライン上のつながりに積極的で重視する特徴がある。居場所を通じて価値観が広がり行動範囲が拡大することを実感。また、居場所があることで人びとが生きやすくなると考えている。



4 人付き合い深く狭く 層

居場所にはほどよい人間関係が存在しながらも、自分一人の時間や安心を確保できるバランスを重視。街や地域の居場所についてもあまり強い期待はもたず、自分のための居場所があれば十分と考える。



5 つながり不足 層

居場所に自分のための安心感を重視し、他者との交流は求めている。複数の居場所を求めることなく、居場所は知られたくない。約半数は、居住地に居場所がないと感じている。



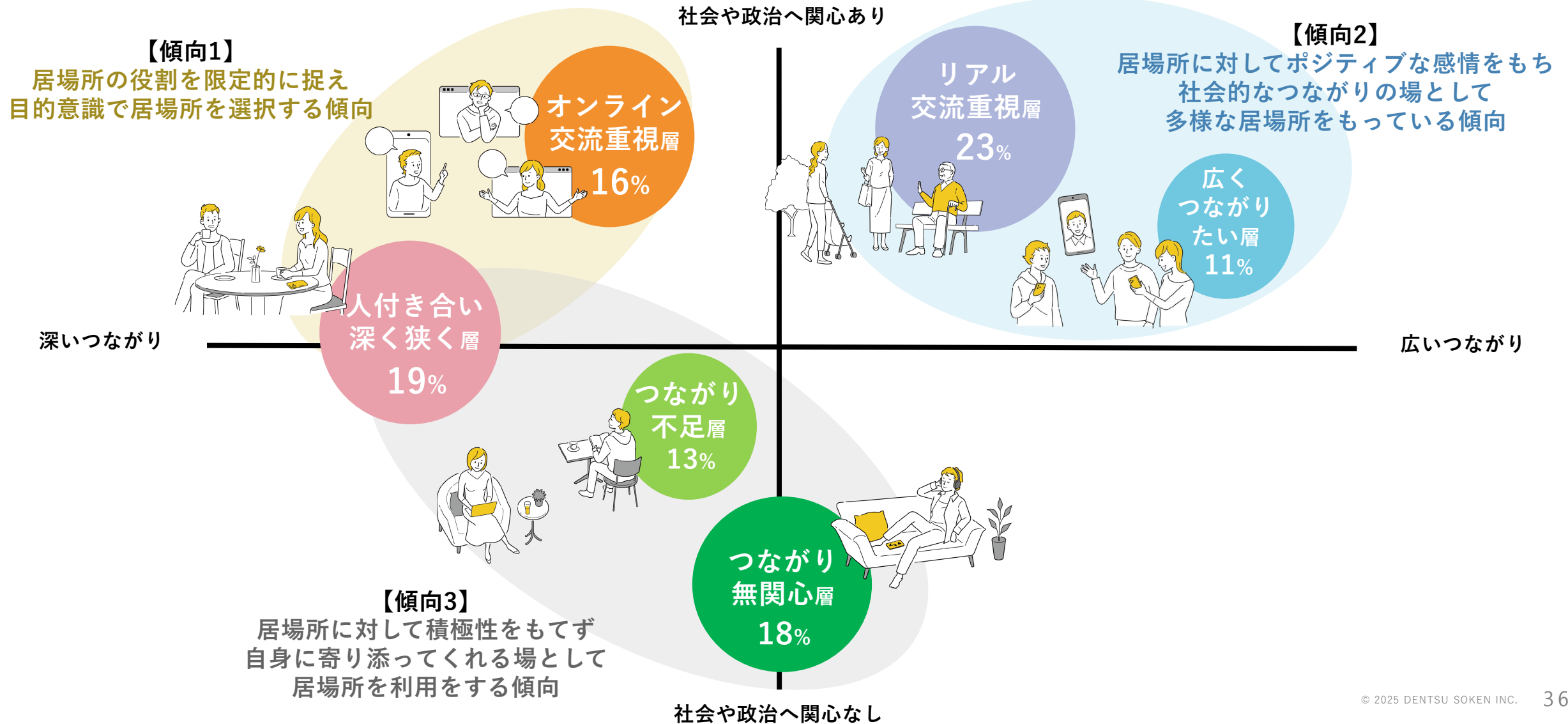
6 つながり無関心 層

居場所があることの影響や価値をあまり感じておらず、居場所が生活や交流を豊かにするとは考えていない。自分のペースで過ごせる静かな環境を求める傾向がある。居住地に居場所がないと感じる人が過半数。



社会や他者とのつながりにおける各クラスターの傾向

各クラスターを「社会や政治への関心」と「他者とのつながり方」を軸に分類した結果、3つの傾向が見られた。



1 リアル交流重視層（クラスター構成比：23%）

社会や他者とのつながりを大切にしている。社交的で人付き合いが豊富。リアルでの交流が多いタイプ。私生活が充実しており、自己肯定感が高い。社会・政治に対して積極的に関心を持ち、変革への意識も高い。



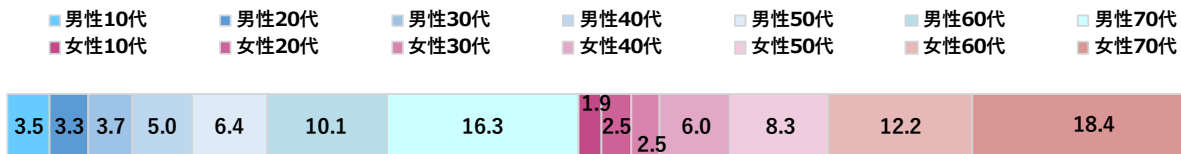
基本属性

- ・高齢層の割合が高い。
- ・配偶者、子どもと同居している人が多い。専業主婦が多い。
- ・友人や知り合いの数が多い。

居場所に対する考え

- ・居場所だと思えるところがあり、居場所の数が多い。
- ・居場所があると感じる場所ベスト3は「家庭・家族」「友人グループ」「職場・オフィス」。
- ・他のクラスターと比較すると「家庭・家族」「ボランティアグループのグループ」「町内会や自治会など近隣住民のコミュニティ」が高い点が特徴的。
- ・自分の居場所があることで、「楽しみができた・増えた」「交流関係ができた・増えた」「過ごし方の選択肢が増えた」。
- ・自分の居場所があることで「この地域に住みつづけなくなった」「街や地域社会への愛着が増した」など、住んでいるエリアに対する愛着が増したという人が他クラスターと比較すると多い。
- ・街や地域に誰かのための居場所があると、「人びとの交流が増える」「人びとが生きやすくなる」「街が魅力的になる」と考えており、「街や地域に、一つでもいいから自分のための居場所があるといい」と思っている。
- ・住んでいる街や地域社会の中で居場所だと感じている場所は「カフェ・喫茶店」「図書館」「海辺・港・川べり・野原・山など自然を感じられる場所」。
- ・その他で他クラスターと比較して高くなっているのは「屋内外のスポーツ施設」「美容室・理髪店・エステ・マッサージ施設」など。
- ・居場所には交流を求めており、居場所には「ほどよい人間関係がある」「人と出会える・会話ができる」「自分らしくいられる」といったことを期待している。

性年代別



街・地域について

- ・今住んでいる街・地域に長く住んでいる人が多く、住んでから10年以上経過しているという人が8割。30年以上という人が4割。
- ・住んでいる街に愛情を感じている人が多い。

社会参画について

- ・社会参画度が強い。
- ・国や地元の選挙の投票へ行くという人が多く、政治への興味関心が高い傾向。
- ・「町会・町内会・自治会などに参加する」など地域社会への関与が高い。近所の人と会話をするという人も多い。

情報源

- ・情報源はテレビ中心。ニュースサイトやアプリも利用。
- ・新聞、知人からの口コミ、自治体の掲示板や広報紙、回覧板なども情報源となっている。

2 広くつながりたい層（クラスター構成比：11%）

周囲と支え合う関係性が築かれている。社交的で人付き合いが豊富。
リアルでの交流、オンラインでの交流どちらも多いタイプ。
私生活が充実しており、自己肯定感が高い。
近所付き合い、地域のイベント参加、地域の商店の支援など地域社会へも関わる。



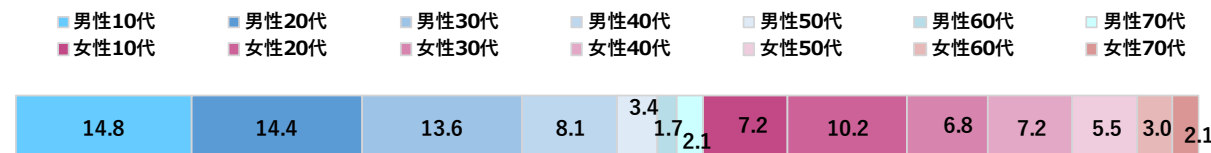
基本属性

- ・若年層の割合が高い。男性10代～男性30代が多い。
- ・学生が多い。未婚で親や兄弟姉妹と同居している人が多い。
- ・友人や知り合いの数が多い。

居場所に対する考え

- ・居場所だと思えるところがあり、居場所の数が多い。
 - ・居場所があると感じる場所ベスト3は「家庭・家族」「友人グループ」「職場・オフィス」。
 - ・他クラスターと比較すると「職場・オフィス」が高い点が特徴的。
-
- ・自分の居場所があることで、「楽しみができた・増えた」「価値観が広がった」「交流関係ができた・増えた」。
 - ・自分の居場所があることで「社会への関心が芽生えた」という人が他クラスターと比較すると多い。
-
- ・街や地域に誰かのための居場所があると、「人びとが生きやすくなる」「人びとの交流が増える」「街が魅力的になる」と考え、「街や地域に、一つでもいいから自分のための居場所があるといい」「街や地域には、誰かのための居場所が今後もっと増えるとよい」と思っている。
 - ・「街や地域の中にある自分の居場所はシェアしたい」「街や地域にある居場所には多様な人がいてほしい」という人が他クラスターと比較すると多い。
 - ・住んでいる街や地域社会の中で居場所だと感じている場所は「カフェ・喫茶店」「公園・ビオトープ」「オフィス・職場・仕事場（アルバイト先を含む）」。その他で他クラスターと比較して高くなっているのは「飲み屋・スナック・バー・居酒屋」など。
-
- ・居場所には「ほどよい人間関係がある」「自分らしくいられる」「人と出会える・会話ができる」といったことを期待している。

性年代別



街・地域について

- ・住んでいる街に愛情を感じている人が多い。

社会参画について

- ・「近所の人と話をする」「お祭りや催し物など地域のイベントに行く」といった形で地域社会と関わっている。
- ・他クラスターと比較すると「寄付をする（募金・クラウドファンディングなど）」「近隣の飲食店・商店に対する購買支援をおこなう」といった活動の回答率が高い点が特徴的。

情報源

- ・情報源はSNS、テレビ、無料の動画配信サービス。有料動画配信サービスの利用割合が高い。
- ・他クラスターと比較するとニュースサイトやWEB記事といった記事系コンテンツの利用割合が低い。

3-オンライン交流重視層（クラスター構成比：16%）

社交的だが対面での付き合いはそれほどなくオンラインでの交流に積極的なタイプ。
現状には満足も将来に対する不安もある。
社会・政治に対する興味関心をもち、変革への意識も高い。



基本属性

- ・10代の割合が高い。
- ・学生が多い。親や兄弟姉妹と同居している人が多い。
- ・友人や知り合いの数が多い。

居場所に対する考え

- ・居場所だと思えるところがあり、居場所の数が多い。
 - ・居場所があると感じる場所ベスト3は「家庭・家族」「友人グループ」「職場・オフィス」。
 - ・他クラスターと比較すると「SNSを含むネット上のコミュニティ」が高い点が特徴的。
-
- ・自分の居場所があることで、「楽しみができた・増えた」「交流関係ができた・増えた」「誰かに頼る・相談する機会が増えた」。
 - ・自分の居場所があることで「価値観が広がった」「雑談をする機会が生まれた」という人が他クラスターと比較すると多い。
-
- ・街や地域に誰かのための居場所があると、「人びとが生きやすくなる」「人びとの交流が増える」「街が魅力的になる」と考えていて、「街や地域には、誰かのための居場所が今後もっと増えるといい」と思っている。
 - ・住んでいる街や地域社会の中で居場所だと感じている場所は「カフェ・喫茶店」「学校・専門学校・サークル・同好会などの練習所・たまり場」「オフィス・職場・仕事場（アルバイト先を含む）」。
-
- ・居場所には交流と非交流の両方を求めており、「自分らしくいられる」「ほどよい人間関係がある」「癒される・メンタルヘルスに良い影響がある」「人と出会える・会話ができる」といったことを期待している。

性年代別

■ 男性10代 ■ 男性20代 ■ 男性30代 ■ 男性40代 ■ 男性50代 ■ 男性60代 ■ 男性70代
■ 女性10代 ■ 女性20代 ■ 女性30代 ■ 女性40代 ■ 女性50代 ■ 女性60代 ■ 女性70代



街・地域について

- ・住んでいる街への愛情は高くも低くもない。
- ・今住んでいる街・地域に住んでいる期間が5年未満の割合が他のクラスターよりも高い

社会参画について

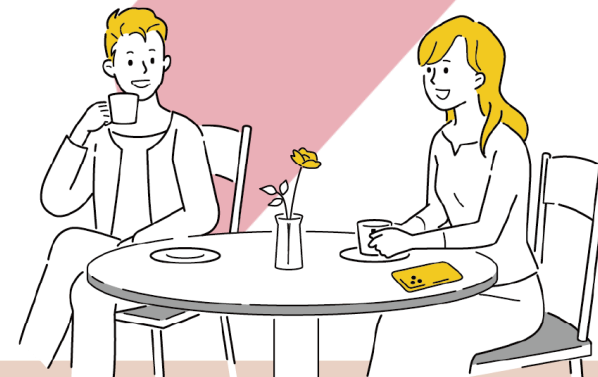
- ・「お祭りや催し物など地域のイベントに行く」など緩やかに地域社会とのつながりはもっているが、「町会・町内会・自治会などに参加する」といったことはせず、「近所の人と話をする」という人も少ない。
- ・政治への興味関心が高い傾向。

情報源

- ・情報源はSNSや無料の動画配信サービスといったインターネット中心。
- ・有料の動画配信サービスや音楽配信サービスの利用率が他クラスターと比較すると高い。

4-人付き合い深く狭く層（クラスター構成比：19%）

非社交的で、付き合う人は家族や旧友など限定的。
現状には満足しておらず、将来に対する不安が強い。
社会の一員として責任は感じているが、社会や政治に対する変革意識は弱い。



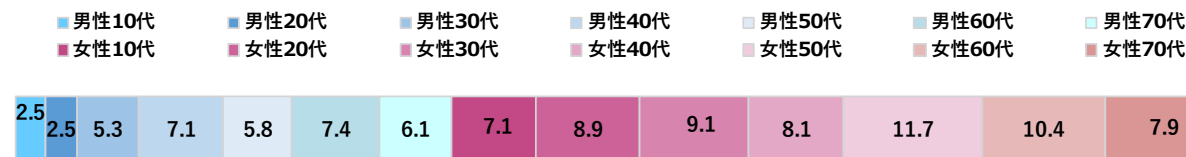
基本属性

- ・女性の割合が高い。
- ・配偶者と同居している人が多い。

居場所に対する考え

- ・居場所だと思えるところはあるが、居場所の数は少ない。
- ・居場所があると感じる場所ベスト3は「家庭・家族」「友人グループ」「職場・オフィス」。
- ・他クラスターと比較すると「SNSを含むネット上のコミュニティ」などが低い点が特徴的。
- ・自分の居場所があることで、「楽しみができた・増えた」「過ごし方の選択肢が増えた」「雑談をする機会が生まれた」「交流関係ができた・増えた」「行動範囲が広がった」と考える人が他クラスターと比較すると少ない。
- ・街や地域に誰かのための居場所があると、「人びとが生きやすくなる」「人びとの交流が増える」と考えていて、「街や地域には、誰かのための居場所が今後もっと増えるとよい」「街や地域に、一つでもいいから自分のための居場所があるといい」と思っている。
- ・「街や地域の居場所は自分で見つけることができる」が低い。
- ・「自分の居場所はシェアしたい」が他クラスターと比較して低い。
- ・住んでいる街や地域社会の中で居場所だと感じている場所は「カフェ・喫茶店」「オフィス・職場・仕事場（アルバイト先を含む）」「海辺・港・川べり・野原・山など自然を感じられる場所」。
- ・居場所には交流を求めている傾向で、「1人になれる、物思いにふけることができる・ぼーっとできる」「自分らしくいられる」「ほどよい人間関係がある」「癒される、メンタルヘルスに良い影響がある」といったことを期待している。

性年代別



街・地域について

- ・住んでいる街への愛情は高くも低くもない。

社会参画について

- ・社会参画度はそれほど強くない。
- ・国や地元の選挙の投票には行くが、政治や社会問題への興味関心は高くない。
- ・「お祭りや催し物など地域のイベントに行く」という人は少ない。

情報源

- ・情報源はテレビ中心。無料の動画配信サービスやニュースサイト・アプリも利用。

5-つながり不足層（クラスター構成比：13%）

非社交的で付き合いが少なく、困った時に頼れる人がいない。
孤独を感じており、将来に対する不安が強い。
社会の一員という意識をもてておらず、
社会・政治への関わりは消極的で諦めを感じている。

基本属性

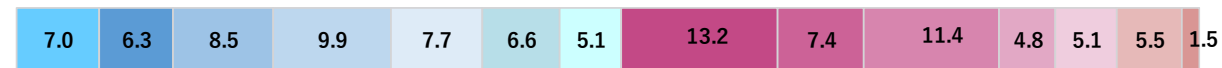
- ・女性10代、女性30代の割合が高い。
- ・未婚で親と同居している人が多い。
- ・友人や知り合いの数が少ない。

居場所に対する考え

- ・「居場所だと思えるところがない」という人が他クラスターと比較して多い。
 - ・居場所があると感じる場所ベスト3は「家庭・家族」「友人グループ」「職場・オフィス」。
 - ・「友人グループ」「職場・オフィス」などについては他クラスターと比較すると低い。
-
- ・自分の居場所があることで、「楽しみができた・増えた」「交流関係ができた・増えた」「過ごし方の選択肢が増えた」。
-
- ・街や地域に誰かのための居場所があると、「人びとが生きやすくなる」「人びとの交流が増える」と考えていて、「街や地域に、一つでもいいから自分のための居場所があるといい」と思っている。
 - ・「自分の居場所はほかの人には知られたくない」が他クラスターと比較して高い。
 - ・「街や地域の居場所は自分で見つけることができる」「街や地域にある居場所には多様な人がいてほしい」が低い。
 - ・住んでいる街や地域社会の中で居場所だと感じている場所は「カフェ・喫茶店」「海辺・港・川べり・野原・山など自然を感じられる場所」「書店」。
 - ・「住んでいる街や地域社会の中に、自分の居場所だと感じる場所はない」が他クラスターと比較して高い。
-
- ・「居場所」には交流を求めている傾向で、「居場所」には「自分らしくいられる」「1人になれる・物思いにふけることができる・ぼーっとできる」「ほどよい人間関係がある」「気を紛らわされる・嫌なことを忘れられる」といったことを期待している。「やりたいことに集中・没頭できる・勉強や仕事がかどる」が比較的高い。

性年代別

■ 男性10代 ■ 男性20代 ■ 男性30代 ■ 男性40代 ■ 男性50代 ■ 男性60代 ■ 男性70代
■ 女性10代 ■ 女性20代 ■ 女性30代 ■ 女性40代 ■ 女性50代 ■ 女性60代 ■ 女性70代



街・地域について

- ・今住んでいる街・地域に住んで10年以上20年未満という人が多い。
- ・住んでいる街に愛情を感じていない人が多い。

社会参画について

- ・社会参画度が弱い。政治や社会問題への興味関心は低い。
- ・近所の人と話をしない。

情報源

- ・情報源はテレビ、SNS、無料の動画配信サービス。
- ・ニュースサイトやアプリ、WEB記事・まとめサイトも利用。



6-つながり無関心層（クラスター構成比：18%）

非社会的で人との交流が少ない。
居場所や交流を求めておらず、期待をしていることもない。
社会・政治に対する関心が低い。



基本属性

- ・男性の割合が高い。
- ・一人暮らしが多い。
- ・友人や知り合いの数が少ない。

居場所に対する考え

- ・居場所の数が少ない。
- ・居場所だと思えるところがないという人が他クラスターと比較して多い。
- ・居場所があると感じる場所ベスト3は「家庭・家族」「職場・オフィス」「友人グループ」。
- ・「友人グループ」については他クラスターと比較すると低い。
- ・他クラスターと比較すると「SNSを含むネット上のコミュニティ」が低い点が特徴的。

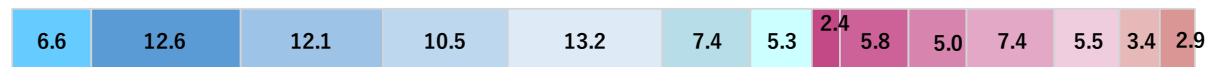
- ・自分の居場所があることによる「影響はない」という人が他クラスターと比較すると多い。
- ・居場所が必要という人が少なく、居場所があることによって交流が増えたり、生きやすくなるとは考えていない。

- ・住んでいる街や地域社会の中で居場所だと感じている場所は「カフェ・喫茶店」「オフィス・職場・仕事場（アルバイト先を含む）」「図書館」。
- ・「住んでいる街や地域社会の中に、自分の居場所だと感じる場所はない」が他クラスターと比較して高い。

- ・居場所には、「1人になれる・物思いにふけることができる・ぼーっとできる」「自分らしくいられる」といったことを期待している。

性年代別

■ 男性10代 ■ 男性20代 ■ 男性30代 ■ 男性40代 ■ 男性50代 ■ 男性60代 ■ 男性70代
■ 女性10代 ■ 女性20代 ■ 女性30代 ■ 女性40代 ■ 女性50代 ■ 女性60代 ■ 女性70代



街・地域について

- ・住んでいる街に愛情を感じていない人が多い。

社会参画について

- ・社会参画度が弱く、地域との関わりをもっていない。
- ・政治や社会問題への興味関心が低く、選挙に行っている人も少ない。

情報源

- ・情報源はテレビやSNS。情報源が少ない。



Appendix

クラスター別クロス集計

クラスター別クロス集計①

Q2 あなたには、自分の「居場所」だと思えるところがありますか。

n=30以上の場合

[比率の差]

全体+10ポイント

全体 +5ポイント

全体 -5ポイント

全体-10ポイント

		n=	自分の居場所 だと思える ところがある	やや自分の居 場所だと思 えるところがある	あまり自分の 居場所だと思 えるところはない	自分の居場所 だと思える ところはない	ある 計	ない 計
全体		(2100)	62.9	25.8	7.7	3.6	88.7	11.3
クラスター別	リアル交流重視層	(484)	82.0	15.1	2.7	0.2	97.1	2.9
	広くつながりたい層	(236)	61.0	31.8	5.1	2.1	92.8	7.2
	オンライン交流重視層	(334)	68.9	23.7	5.7	1.8	92.5	7.5
	人付き合い深く狭く層	(394)	62.4	27.4	6.9	3.3	89.8	10.2
	つながり不足層	(272)	48.5	32.7	13.2	5.5	81.3	18.8
	つながり無関心層	(380)	45.3	31.1	14.2	9.5	76.3	23.7

Q3 次の集団や組織の中に、あなたの「居場所」はあると感じていますか。それぞれについてお知らせください。（居場所あり一覧）

n=30以上の場合

[比率の差]

全体+10ポイント

全体 +5ポイント

全体 -5ポイント

全体-10ポイント

		n=	家庭・家族	学校・学校の クラス	職場・オフィ ス	友人グループ	学校以外の習 い事	町内会や自治 会など近隣住 民のコミュニ ティ	ボランティア 活動のグルー プ	SNSを含む ネット上のコ ミュニティ
全体		(2100)	87.3	15.0	43.0	59.7	12.4	12.4	5.9	20.6
クラスター別	リアル交流重視層	(484)	96.1	7.9	42.4	74.2	15.3	27.3	11.8	15.3
	広くつながりたい層	(236)	91.9	28.8	58.9	71.6	16.9	19.9	10.6	39.4
	オンライン交流重視層	(334)	86.8	30.8	47.9	76.6	18.3	5.7	5.7	40.4
	人付き合い深く狭く層	(394)	89.6	7.4	39.6	50.5	7.6	8.1	1.0	9.4
	つながり不足層	(272)	85.7	15.8	29.0	48.5	7.4	4.8	2.6	19.9
	つながり無関心層	(380)	72.4	9.2	42.9	36.6	9.5	4.5	2.9	10.3

※家庭や学校などのスコアについては
各クラスター内の年齢構成や未既率も影響

クラスター別クロス集計②

Q4 自分の「居場所」があることで、あなたの生活や考えに何か変化はありましたか。あてはまるものをすべてお知らせください。

n=30以上の場合

[比率の差]

全体+10ポイント

全体 +5ポイント

全体 -5ポイント

全体-10ポイント

n=		生き甲斐 ができ た・増え た	交流関係 ができ た・増え た	楽しみが できた・ 増えた	社会への 関心が芽 生えた	価値観が 広がった	行動範囲 が広がっ た	過ごし方 の選択枝 が増えた	街や地域 社会への 愛着が増 した	この地域 に住みつ づけたく なった	誰かの役 に立ちた いと思っ た	生活が健 康的に なった	雑談をす る機会が 生まれた	働き方を 変える きっかけ になった	オンオフ を切り替 えること ができる ように なった	誰かに頼 る・相談 する機会 が増えた	その他	特に影響 はない	
全体		(1863)	23.8	30.7	44.8	9.6	22.0	21.1	27.9	6.1	8.4	16.6	20.3	25.2	6.9	22.4	22.5	0.4	24.1
クラスター別	リアル交流重視層	(470)	25.3	34.5	46.4	12.3	21.1	24.7	32.3	11.3	14.5	22.1	26.0	29.8	6.2	20.6	19.8	0.2	22.1
	広くつながりたい層	(219)	27.9	30.1	51.1	18.3	30.6	28.8	28.3	9.1	12.3	21.9	26.5	22.8	11.9	28.8	24.7	0.0	9.1
	オンライン交流重視層	(309)	37.9	51.5	62.1	12.3	38.5	34.6	37.2	5.2	6.8	26.2	26.2	39.5	10.0	30.1	41.4	0.6	11.3
	人付き合い深く狭く層	(354)	18.9	20.9	42.4	4.8	18.1	12.4	26.3	3.7	4.5	11.6	17.2	23.2	4.5	22.0	20.6	0.6	26.3
	つながり不足層	(221)	26.2	31.7	42.1	5.0	15.4	16.3	29.9	2.3	4.5	11.3	14.0	22.2	6.8	22.6	19.0	0.9	29.9
	つながり無関心層	(290)	7.2	14.1	23.8	4.8	9.3	9.7	10.7	2.4	4.8	3.8	8.6	9.3	3.8	12.4	10.3	0.0	45.2

Q5 街や地域にある「居場所」に関する次のような考えについて、そう思いますか、それともそうは思いませんか。それぞれについてあてはまるものをお知らせください。（そう思う計一覧）

n=30以上の場合

[比率の差]

全体+10ポイント

全体 +5ポイント

全体 -5ポイント

全体-10ポイント

n=		街や地域に は、自分の ための「居 場所」が今 後もっと増 えるとい	街や地域に は、誰かの ための「居 場所」が今 後もっと増 えるとい	街や地域 に、一つで もいいから 自分のため の「居場 所」がある といい	街や地域に 誰かのため の「居場 所」がある と、街が魅 力的になる	街や地域に 誰かのため の「居場 所」がある と、人びと が生きやす くなる	街や地域に 誰かのため の「居場 所」がある と、政治へ の関心や投 票率が上が る	街や地域に 誰かのため の「居場 所」がある と、人びと の交流が増 える	街や地域の 「居場所」 を知るため の情報が もっと欲し い	街や地域の 「居場所」 は自分で見 つけること ができる	街や地域の 中にある自 分の「居場 所」はシェ アしたい	街や地域に ある自分の 「居場所」 はほかの人 には知られ たくない	街や地域に ある「居場 所」には多 様な人がい てほしい	街や地域に ある「居場 所」には限 られた人だ けがいてほ しい	
全体		(2100)	53.2	63.7	65.6	63.0	69.0	41.6	68.5	49.7	41.2	29.1	33.9	42.0	31.0
クラスター別	リアル交流重視層	(484)	60.1	71.9	74.8	74.2	78.5	50.8	81.4	57.6	55.0	32.0	21.3	50.8	19.8
	広くつながりたい層	(236)	75.8	81.8	84.7	81.4	83.5	69.9	83.1	75.0	72.9	69.9	58.1	73.7	59.7
	オンライン交流重視層	(334)	66.5	80.5	77.2	78.4	85.9	49.4	85.6	62.6	47.6	35.9	32.9	56.0	32.3
	人付き合い深く狭く層	(394)	48.7	65.5	63.5	63.5	73.6	33.2	71.3	45.2	30.7	16.0	33.8	32.5	29.9
	つながり不足層	(272)	46.7	59.2	63.6	57.4	66.9	29.0	64.0	42.6	23.9	16.9	46.3	28.3	36.0
	つながり無関心層	(380)	28.2	28.4	35.3	27.1	29.5	22.9	28.2	22.4	21.6	16.3	27.1	18.4	23.7

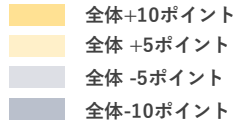
クラスター別クロス集計③

Q6 お住まいの街や地域社会の中に、あなたが自分の「居場所」だと感じている場所がありますか。あてはまる場所をすべてお知らせください。

			住んでいる街や地域社会の中に、自分の居場所だと感じる場所はない	その他	農園（農業従事者ではなく、趣味で借りている畑など）	喫煙所	海辺、港、川べり、野原、山など自然を感じられる場所	公園、ビオトープ	神社・寺院・教会など宗教施設	スーパーマーケット・コンビニ・個人経営の商店	商業施設（ショッピングセンター・モールなど）	飲み屋・スナック・バー・居酒屋	定食屋・レストラン（食事をするところ）	カフェ・喫茶店（お茶をするところ）	コワーキングスペース	美術館・博物館・科学館・動物園・水族館・遊園地・テーマパーク	映画館・劇場・寄席	ゲームセンター・ボーリング・カラオケ・卓球場などの遊戯施設	美容室・理髪店・エステ・マッサージ施設	温泉・銭湯・スーパー銭湯	書店	図書館	病院（通院・検査・入院・お見舞いなど）・デイケア・介護施設	屋内外のスポーツ施設（スポーツセンター・ジム・プール・野球場・サッカー場など）	公民館・区民センターなどの自治体の施設	地域のコミュニティスペース・未就学児の子育て支援スペース	町会・町内会・商工会議所・青年会などの集会所	塾・予備校・習い事の教室・スクール	子どもや孫などが通う学校・学童クラブ・子ども食堂・児童館	学校・専門学校・サークル・同好会などの練習所・たまり場	オフィス・職場・仕事場（アルバイト先を含む）
		n=	14.8	10.9	1.9	3.9	2.7	2.5	4.0	7.6	3.5	13.1	9.0	10.6	7.5	5.9	7.9	8.0	1.4	18.6	9.4	7.8	10.9	10.0	5.5	11.1	11.8	4.7	2.0	2.8	32.5
クラスター別	全体	(2,100)	14.8	10.9	1.9	3.9	2.7	2.5	4.0	7.6	3.5	13.1	9.0	10.6	7.5	5.9	7.9	8.0	1.4	18.6	9.4	7.8	10.9	10.0	5.5	11.1	11.8	4.7	2.0	2.8	32.5
	リアル交流重視層	(484)	16.9	12.4	2.9	4.8	6.8	3.7	9.1	13.4	5.2	20.7	11.0	14.0	12.8	3.9	9.5	12.0	1.2	22.9	13.6	10.3	14.3	14.5	7.4	15.7	18.2	5.4	3.9	3.5	17.8
	広くつながりたい層	(236)	20.3	18.2	5.9	6.4	3.8	6.8	4.7	12.7	5.9	14.4	13.1	18.2	11.4	11.9	15.3	15.3	3.4	27.5	14.4	18.6	16.9	17.8	9.3	20.8	13.1	7.6	4.2	1.3	15.7
	オンライン交流重視層	(334)	20.4	21.6	1.5	6.6	1.2	1.8	3.3	7.5	4.2	12.3	8.1	10.8	8.7	8.7	9.0	8.7	2.7	23.7	11.1	9.0	13.2	8.1	7.2	9.3	10.2	4.8	0.3	2.1	24.6
	人付き合い深く狭く層	(394)	14.5	4.8	0.5	1.5	1.0	1.0	1.5	3.0	2.3	10.7	8.6	7.6	5.6	3.0	6.3	5.3	1.0	15.7	6.1	4.3	7.1	6.3	4.3	8.9	11.7	4.1	1.3	3.6	38.1
	つながり不足層	(272)	7.7	7.7	0.4	2.6	0.4	0.7	1.5	2.9	2.6	8.8	9.2	6.6	3.3	7.4	4.8	5.9	0.0	13.2	7.0	4.0	8.5	8.1	2.6	7.4	11.4	4.4	1.8	2.2	47.1
		(380)	9.2	3.7	0.8	2.1	1.6	1.6	1.8	5.0	1.3	8.9	4.7	7.1	2.4	4.2	4.2	1.8	0.5	9.7	4.5	3.2	6.3	6.6	2.4	5.8	4.7	2.9	0.8	2.9	52.6

n=30以上の場合

[比率の差]



電通総研コンパスvol.14

居場所に関する意識調査

2025年 3 月

- 本調査内容に関するお問い合わせ先
qsociety@dentsusoken.com
担当：山崎、中川、青山
協力：木村（電通）

Photo by Alla Hetman on Unsplash

